

# 大河原町個別施設計画



令和4年7月  
大河原町



## 目次

<b>第1章 計画の概要</b>	<b>1</b>
1 計画の背景と目的 .....	1
2 計画の位置づけ .....	2
3 計画期間 .....	3
<b>第2章 計画対象施設</b>	<b>4</b>
1 対象施設の数量 .....	4
2 築年数別整備状況 .....	8
<b>第3章 施設の状態等の調査</b>	<b>9</b>
1 施設の状態等の調査（施設カルテの作成） .....	9
2 施設カルテの見方 .....	10
<b>第4章 施設カルテ（各施設の現状と方向性）</b>	<b>11</b>
1 社会施設 .....	11
2 医療保健福祉・子育て支援施設 .....	51
3 住宅施設 .....	60
4 行政施設 .....	62
<b>第5章 対策の優先順位の考え方</b>	<b>97</b>
1 優先順位の考え方 .....	97
<b>第6章 対策の実施方針</b>	<b>98</b>
1 施設点検の基本方針 .....	98
2 長寿命化の基本方針 .....	100
3 対策費用の試算 .....	103



# 第 1 章 計画の概要

## 1 計画の背景と目的

わが国では、高度経済成長期における急激な人口増加と社会環境の変化に伴い、教育施設、集会施設などの公共施設や道路・橋梁・上下水道などのインフラ施設の整備が進められてきました。しかし、その当時から建築された公共施設等の多くが築 30 年以上経過し、現在、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。

一方で、多くの地方公共団体において財政状況が一層厳しさを増していくことに加え、人口減少や少子高齢化等の進行に伴う社会経済情勢の急激な変動により、公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されます。そのため、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点に立って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置や有効活用を進めていく必要があります。

このような中、国においては、平成 25 年（2013 年）11 月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）を策定し、公共施設等の老朽化対策への取り組みを始めました。また、平成 26 年（2014 年）4 月には、地方公共団体に対して「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」を通知し、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

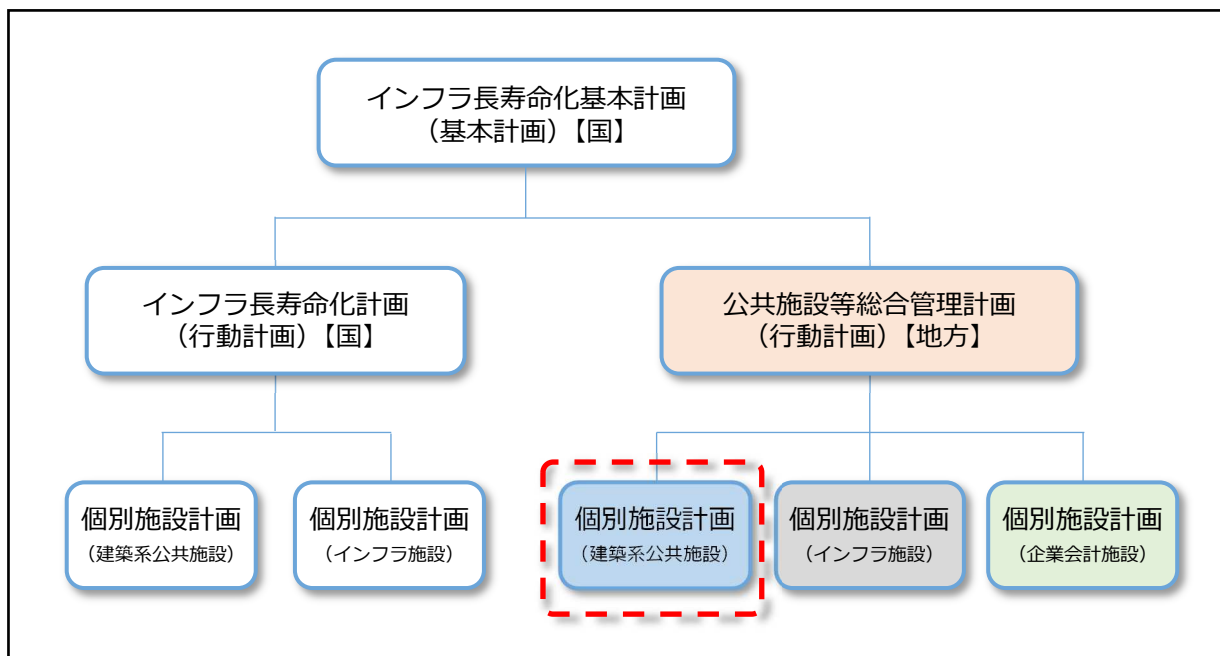
こうした状況を踏まえ、本町では、今後の人口や財政状況等の見通しに関する把握・分析と、公共施設等の現状や将来にわたって必要な更新費用等の調査・検討を重ねた上で、公共施設等の維持管理に関する基本方針等を盛り込んだ「大河原町公共施設等総合管理計画」（以下、「公共施設等総合管理計画」という）を平成 28 年（2016 年）3 月に策定しました。

本計画は、公共施設等総合管理計画で定めた基本方針に基づき、計画的かつ全庁的な公共施設マネジメントに取り組むべく、個別施設ごとの現状と課題の整理及び今後の方向性等を検討し、各施設の具体的な対応方針を定める「個別施設計画」として令和 4 年（2022 年）7 月に策定、上位計画の「公共施設等総合管理計画」の見直しを令和 4 年度中に予定していることから、本計画が組み込まれていくものです。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、公共施設等総合管理計画の下位計画として、国のインフラ長寿命化基本計画の体系における「個別施設計画」として位置づけます。長期的な視点をもって、更新や長寿命化等の対策内容や実施時期、対策費用等について、施設毎に指針を示します。

<計画の位置づけ>



※学校教育施設、住宅施設（公営住宅）については、別途長寿命化計画を策定済みのため、本計画では対象外とします。

### 3 計画期間

本計画の計画期間は、公共施設等総合管理計画の計画期間との整合性の観点から、令和 4 年度（2022 年度）から令和 37 年度（2055 年度）までの 34 年間とします。

また、本計画は、公共施設等総合管理計画及び各課の個別計画や事業計画との整合を図るとともに、制度改正や財政状況・地域環境の変化等、計画の前提条件に変更が生じた場合には、必要に応じて適宜見直しを行います。

<計画期間>

計 画	H28 2016 年度	~	R04 2022 年度	~	R08 2026 年度	R09 2027 年度	~	R18 2036 年度	R19 2037 年度	~	R37 2055 年度
大河原町公共施設等 総合管理計画 (計画期間：34 年間)	策定		見直し	計画期間：R4（2022）～R37（2055） ※社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直し							
大河原町公共施設等 個別施設計画 (計画期間：34 年間)			策定	計画期間：R4（2022）～R37（2055） ※必要に応じて見直し							

※大河原町公共施設等総合管理計画は令和 4 年度中に見直しを実施予定

## 第2章 計画対象施設

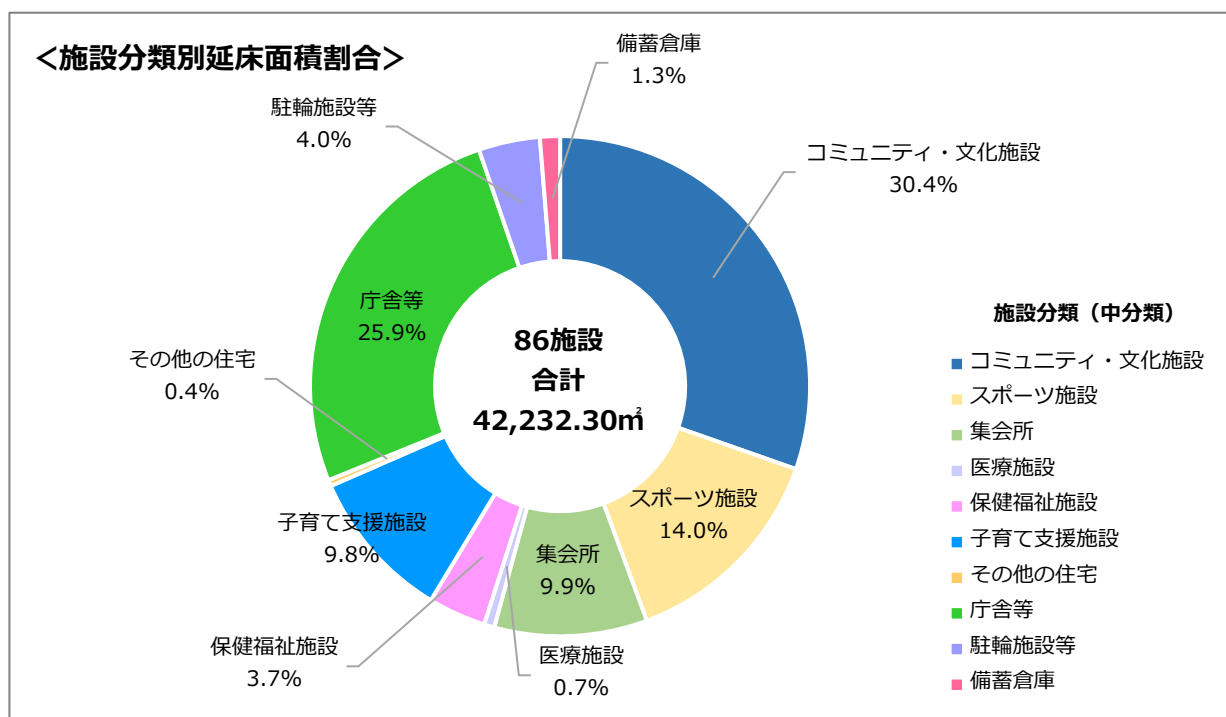
### 1 対象施設の数量

本計画で扱う対象施設は、全 86 施設（96 棟）で延床面積の合計は 42,232.30 m<sup>2</sup>です。  
対象施設の数及び面積等は以下の一覧のとおりです。

<対象施設の数及び面積等>

令和2年度（2020年度）末時点

施設分類		施設数	建物数 (棟)	延床面積 (m <sup>2</sup> )	面積割合 (%)
大分類	中分類				
社会施設	コミュニティ・文化施設	10	12	12,834.01	30.4
	スポーツ施設	2	2	5,898.90	14.0
	集会所	28	28	4,174.89	9.9
医療保健福祉・子育て 支援施設	医療施設	1	1	284.86	0.7
	保健福祉施設	3	6	1,574.19	3.7
	子育て支援施設	5	6	4,148.11	9.8
住宅施設	その他の住宅	2	2	170.00	0.4
行政施設	庁舎等	8	12	10,926.28	25.9
	駐輪施設等	3	3	1,675.18	4.0
	備蓄倉庫	24	24	545.88	1.3
合計		86	96	42,232.30	100.0





## &lt;対象施設一覧&gt;

令和2年度(2020年度)末時点

施設 大分類	施設 中分類	施設 番号	施設名称	建物名称	建築 年度	構造	延床面積 (㎡)	
社会施設	コミュニティ ・文化施設	01	民俗資料蔵室	民俗資料蔵室	1930	木造E/F	587.38	
		02	にぎわい交流施設(中央公民館)	にぎわい交流施設(中央公民館)	1980	鉄筋コンクリート	2,282.00	
		03	金ヶ瀬公民館	金ヶ瀬公民館	金ヶ瀬公民館	1985	鉄筋コンクリート	1,064.00
				陶芸室	陶芸室	1989	鉄筋コンクリート	33.00
				図書室	図書室	1993	鉄筋コンクリート	34.00
	04	駅前コミュニティセンター	駅前コミュニティセンター	1999	鉄骨造	8,000.72		
	スポーツ 施設	05	東部屋内運動場	東部屋内運動場	2010	鉄筋コンクリート	505.90	
		06	総合体育館	総合体育館	1993	鉄筋コンクリート	5,393.00	
	集会所	07	東部集会所	東部集会所	1970	木造	158.64	
		08	上谷集会所	上谷集会所	1973	木造	211.99	
		09	原前集会所	原前集会所	1975	木造	116.10	
		10	稗田前集会所	稗田前集会所	2017	木造	188.80	
		11	西桜集会所	西桜集会所	1977	木造	136.89	
		12	金ヶ瀬新町集会所	金ヶ瀬新町集会所	1978	木造	147.40	
		13	上町集会所	上町集会所	1978	木造	157.34	
		14	台部集会所	台部集会所	1979	木造	103.09	
		15	見城前集会所	見城前集会所	1979	鉄骨造	132.49	
		16	保料集会所	保料集会所	1981	木造	125.04	
		17	尾形丁集会所	尾形丁集会所	1982	木造	140.78	
		18	むつみ集会所	むつみ集会所	1983	木造	154.58	
		19	上川原集会所	上川原集会所	1984	木造	187.70	
		20	丑越集会所	丑越集会所	1984	木造	154.58	
		21	本町集会所	本町集会所	1983	木造	137.46	
		22	幸中島町集会所	幸中島町集会所	1984	木造	157.89	
		23	二本松集会所	二本松集会所	1985	木造	145.47	
		24	東桜集会所	東桜集会所	1986	木造	154.57	
		25	中町集会所	中町集会所	1987	木造	157.89	
		26	南桜集会所	南桜集会所	1990	木造	163.96	
		27	上谷東集会所	上谷東集会所	1991	木造	129.18	
		28	新開集会所	新開集会所	1993	木造	74.52	
		29	福田集会所	福田集会所	1994	木造	89.43	
		30	金ヶ瀬中央集会所	金ヶ瀬中央集会所	1996	木造	173.07	
		31	住吉町研修交流センター	住吉町研修交流センター	2001	木造	155.00	
		32	金ヶ瀬東集会所	金ヶ瀬東集会所	2009	木造	163.45	
		33	西原集会所	西原集会所	2015	木造	186.73	
34		橋本交流センター	橋本交流センター	2014	木造	170.85		
コミュニティ ・文化施設		35	小山田生活センター	小山田生活センター	1973	木造	134.21	

## 第2章 計画対象施設

### <対象施設一覧>

令和2年度(2020年度)末時点

施設大分類	施設中分類	施設番号	施設名称	建物名称	建築年度	構造	延床面積(m <sup>2</sup> )
社会施設	コミュニティ・文化施設	36	小島生活センター	小島生活センター	1974	木造	121.28
		37	新田町生活センター	新田町生活センター	1976	木造	144.18
		38	上大谷生活センター	上大谷生活センター	1975	木造	138.84
		39	堤生活センター	堤生活センター	1979	木造	147.40
		40	新寺生活センター	新寺生活センター	1980	木造	147.00
医療保健 福祉・ 子育て支 援施設	医療施設	41	仙南夜間初期急患センター	仙南夜間初期急患センター	2014	木造	284.86
	保健福祉 施設	42	福祉センター	福祉センター	2001	鉄筋コンクリート	675.21
		43	保健センター	保健センター	1983	鉄筋コンクリート	697.80
		44	福祉作業所さくら	作業所	1994	木造	171.80
				物置	2008	木造	9.93
	物置			2008	木造	9.93	
	子育て支援 施設	45	桜保育所(旧)	桜保育所(旧)	1974	軽量鉄骨造	698.00
				休憩室	1978	軽量鉄骨造	28.00
		46	上谷児童館	上谷児童館	1977	鉄骨造	418.00
		47	大河原児童センター	大河原児童センター	1996	木造	349.46
		48	世代交流いきいきプラザ	世代交流いきいきプラザ	2013	鉄骨造	1,310.77
49	桜保育所	桜保育所	2020	木造二階建	1,343.88		
住宅施設	その他の 住宅	50	旧末広医師住宅	旧末広医師住宅	1974	木造	86.00
		51	旧保料医師住宅	旧保料医師住宅	1975	木造	84.00
行政施設	庁舎等	52	旧さぎ沼荘	旧さぎ沼荘	1971	木造	546.00
		53	大河原町地方卸売市場	大河原町地方卸売市場	1973	鉄骨造	1,256.00
		54	学校給食センター	学校給食センター	2019	鉄骨造	1,786.26
		55	大河原町役場	役場庁舎	1984	鉄筋コンクリート	4,993.79
				車庫・倉庫棟	1984	鉄骨造	785.90
				車庫・事務所棟	1984	鉄骨造	466.64
				LPGボンベ・物置棟	1984	鉄筋コンクリート	14.65
				防災倉庫棟	1991	鉄骨造	78.10
		56	大河原公園管理棟	大河原公園管理棟	1995	鉄筋コンクリート	126.40
		57	はたらく館 ※旧仙台地方検察庁大河原支部	はたらく館 ※旧仙台地方検察庁大河原支部	1981	鉄筋コンクリート	372.44
	58	新東防災倉庫 ※旧宮城県南青果商業協同組合	新東防災倉庫 ※旧宮城県南青果商業協同組合	1979	鉄骨造	398.58	
	59	旧稗田前集会所	旧稗田前集会所	1976	木造	101.52	
	駐輪施設等	60	大河原駅自由通路	大河原駅自由通路	1986	鉄骨造	448.50
		61	大河原駅前第1駐輪場	大河原駅前第1駐輪場	1987	鉄骨造	916.48
62		大河原駅前第2駐輪場	大河原駅前第2駐輪場	1987	鉄骨造	310.20	
備蓄倉庫	63	本町地区防災資機材備蓄倉庫	本町地区防災資機材備蓄倉庫	1978	木造	12.40	

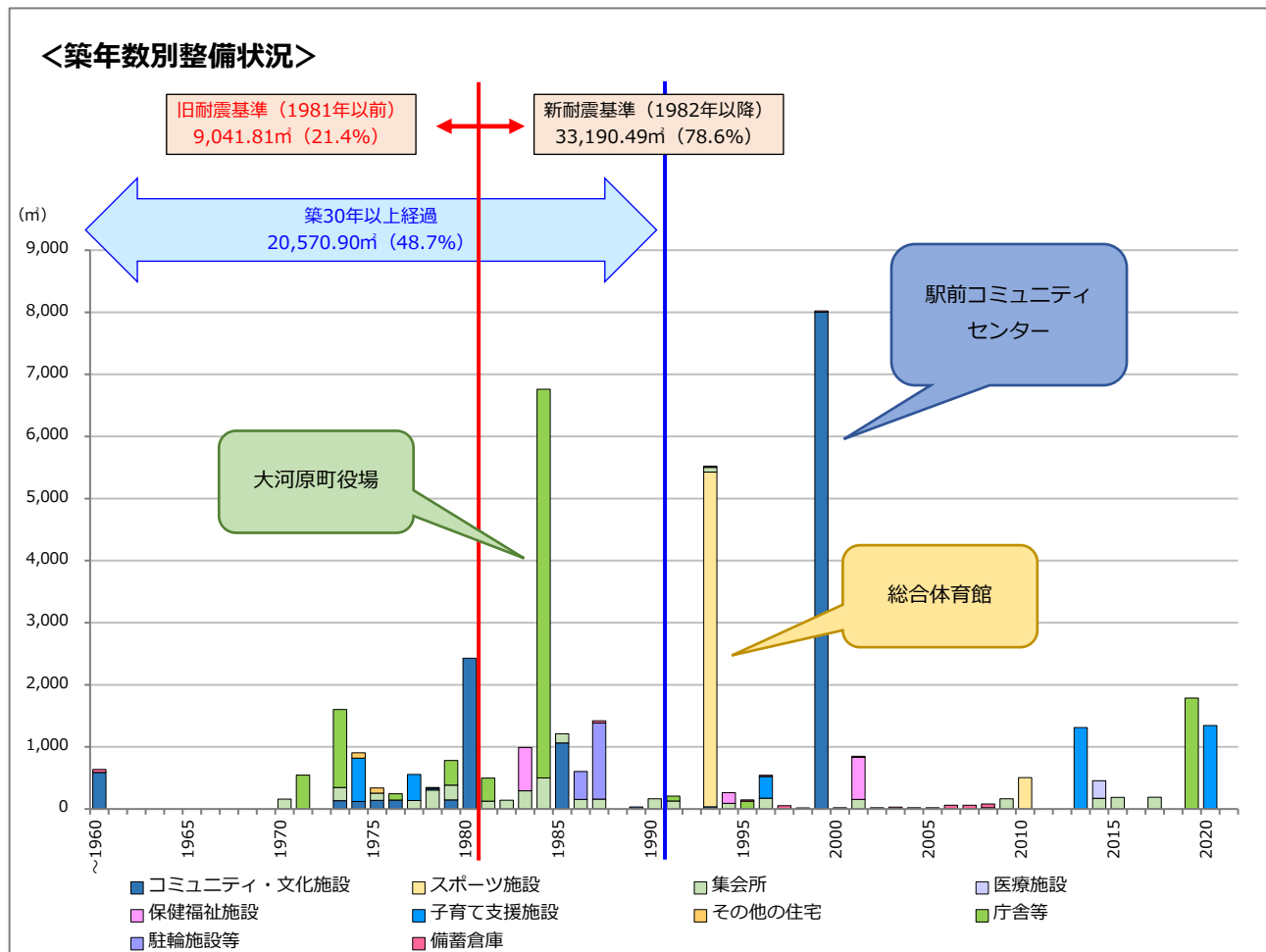
## &lt;対象施設一覧&gt;

令和2年度(2020年度)末時点

施設 大分類	施設 中分類	施設 番号	施設名称	建物名称	建築 年度	構造	延床面積 (㎡)
行政施設	備蓄倉庫	64	むつみ地区防災資機材備蓄倉庫	むつみ地区防災資機材備蓄倉庫	1993	木造	19.87
		65	金ヶ瀬中央地区防災資機材備蓄倉庫	金ヶ瀬中央地区防災資機材備蓄倉庫	1995	木造	20.70
		66	保料地区防災資機材備蓄倉庫	保料地区防災資機材備蓄倉庫	1996	木造	19.87
		67	自動車班防災備蓄倉庫	自動車班防災備蓄倉庫	1997	木造	52.99
		68	小山田地区防災資機材備蓄倉庫	小山田地区防災資機材備蓄倉庫	1998	木造	16.56
		69	東新町地区防災資機材備蓄倉庫	東新町地区防災資機材備蓄倉庫	1999	木造	19.87
		70	堤地区防災資機材備蓄倉庫	堤地区防災資機材備蓄倉庫	2000	木造	19.87
		71	上大谷地区防災資機材備蓄倉庫	上大谷地区防災資機材備蓄倉庫	2001	木造	19.87
		72	6-19 防災資機材備蓄倉庫	6-19 防災資機材備蓄倉庫	2002	木造	19.87
		73	西原地区防災資機材備蓄倉庫	西原地区防災資機材備蓄倉庫	2003	木造	19.87
		74	福田地区防災資機材備蓄倉庫	福田地区防災資機材備蓄倉庫	2004	木造	19.87
		75	新寺地区防災資機材備蓄倉庫	新寺地区防災資機材備蓄倉庫	2006	木造	19.87
		76	橋本地区防災資機材備蓄倉庫	橋本地区防災資機材備蓄倉庫	2006	木造	19.87
		77	金ヶ瀬上地区防災資機材備蓄倉庫	金ヶ瀬上地区防災資機材備蓄倉庫	2006	木造	19.87
		78	上谷地区防災資機材備蓄倉庫	上谷地区防災資機材備蓄倉庫	2005	木造	19.87
		79	南桜町地区防災資機材備蓄倉庫	南桜町地区防災資機材備蓄倉庫	2007	木造	19.87
		80	中島町地区防災資機材備蓄倉庫	中島町地区防災資機材備蓄倉庫	2007	木造	19.87
		81	原前地区防災資機材備蓄倉庫	原前地区防災資機材備蓄倉庫	2007	木造	19.87
		82	上川原地区防災資機材備蓄倉庫	上川原地区防災資機材備蓄倉庫	2008	木造	19.87
		83	小島地区防災資機材備蓄倉庫	小島地区防災資機材備蓄倉庫	2008	木造	19.87
		84	尾形丁地区防災資機材備蓄倉庫	尾形丁地区防災資機材備蓄倉庫	2008	木造	19.87
		85	中町倉庫	中町倉庫	1987	木造	35.97
		86	東部郷倉	東部郷倉	1936	岩	49.60

## 2 築年数別整備状況

本計画の対象施設の築年数別整備状況をみると、1970～1990年代に多くの建築系公共施設（建物）が建築されたことがわかります。また、昭和56年（1981年）の新耐震基準以前に建築された施設は延床面積ベースで全体の21.4%、大規模改修の目安とされる築30年以上の施設は全体の48.7%を占めています。

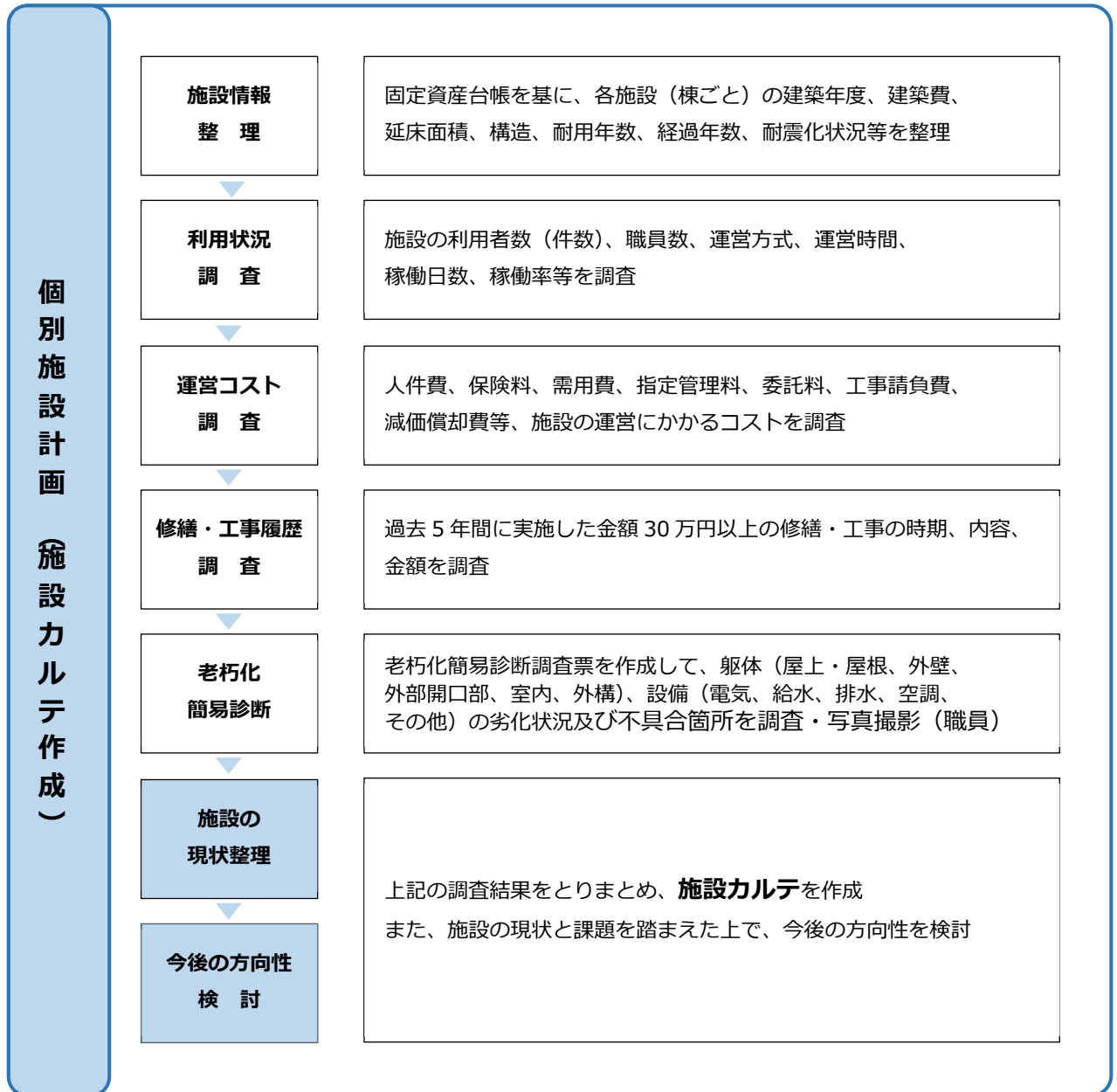


## 第3章 施設の状態等の調査

### 1 施設の状態等の調査（施設カルテの作成）

本計画では、以下のフローに基づき、個別施設ごとに利用・運営状況や修繕・工事履歴の調査、また建物の老朽化簡易診断を実施して、施設の現状と課題を整理した上で、今後の方向性等について検討し、個別施設ごとの「施設カルテ」を作成しました。

＜施設の状態等の調査と方向性の検討フロー＞



## 2 施設カルテの見方

### 〇〇施設

#### 施設類型・施設名称

※施設類型は公共施設等総合管理計画と対応  
・〇〇施設 … 施設大分類

#### 施設 NO. 施設名

### (1) 施設の概要

#### ① 施設概要

代表建物名称		所管課	
所在地		施設分類	
代表建築年度			
建築費			
延床面積			
構造			
耐用年数			
耐震化			
付帯施設			

#### 施設概要

固定資産台帳を基に施設の基本的な情報を記載

※施設内に複数の建物がある場合の記載内容

- ・代表建築年度 … 主要な建物の建築年度（基本的には最も古い建築年度）
- ・建築費 … 全ての建物の合計建築費
- ・延床面積 … 全ての建物の合計延床面積
- ・構造 … 主要な建物の構造
- ・耐用年数 … 主要な建物の耐用年数
- ・経過年数 … 主要な建物の経過年数（令和2年度末時点）

#### ② 利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）					
職員数（正規）					
職員数（臨時）					
運営方式					
運営時間					
稼働日数					
稼働率					
運営経費					

#### 利用者数・運営状況

過去5年間の施設の利用状況・運営状況を記載

※施設内に複数の建物がある場合の記載内容

- ・建物ごとに利用・運営の状況が異なっており、かつ建物ごとに個別に状況を把握可能な場合  
⇒ 建物ごとに分けて利用状況等を記載
- ・建物ごとに利用・運営状況に差がない場合、もしくは建物ごとの個別の状況を把握不可能な場合  
⇒ 施設全体としての利用状況等を記載
- ・不明な場合には「-」と記載

#### 運営経費の記載

施設内の全ての建物に係る支出の合計

- ・人件費、保険料、需要費、指定管理料、委託料、工事請負費、減価償却費、その他支出

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費

#### 修繕・工事履歴

原則としては過去5年間で金額30万円以上の修繕・工事を記載

※5件以上の修繕・工事を実施している場合の記載内容

⇒ 金額が大きい順に5件を抽出して記載

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	
施設の現状	
今後の方向性	

#### 施設の現状と方向性

施設の利用目的・現在の状態・今後の方向性について本計画策定時点での町としての考え方を記載

## 第4章 施設カルテ（各施設の現状と方向性）


### 1 社会施設

#### 01. 民俗資料収蔵室

##### (1) 施設の概要

###### ①施設概要

代表建物名称	民俗資料収蔵室			所管課	生涯学習課
所在地	字東 2	施設分類	コミュニティ・文化施設		
代表建築年度	昭和5年（1930年）度				
建築費	22,090,570円	再調達価額			
延床面積	587.38㎡				
構造	木造モルタル				
耐用年数	22年	経過年数	90年		
耐震化		避難所			
付帯施設					



###### ②利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）	287人	242人	263人	228人	37人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	365日	365日	365日	365日	365日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	-	-	-	-	-

##### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

##### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・町民から寄贈された民俗資料（昔使った日常生活用品、器具、農具など約20,000点）を一般公開し、町民の歴史や文化に対する関心を高める。
施設の現状	・令和3年2月及び3月の地震後に木造建築物応急危険度診断で、1階天井一部落下危険性と2階床傾き2%が有り、危険度「C危険」と判定されている。
今後の方向性	・令和3年度中に解体済み。（地震の被害があり、施設を解体） ・民俗資料収蔵室の整備について、住民団体からの請願が出されている。

## 1 社会施設

### 02. にぎわい交流施設(中央公民館)

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	にぎわい交流施設(中央公民館)			所管課	生涯学習課	
所在地	字町 196	施設分類	コミュニティ・文化施設			
代表建築年度	昭和 55 年（1980 年）度					
建築費	594,000,000 円	再調達価額				
延床面積	2,282.00 m <sup>2</sup>					
構造	鉄筋コンクリート					
耐用年数	50 年	経過年数				40 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	30,435 人	15,632 人	10,883 人	21,580 人	8,353 人
職員数 (正規)	4 人	4 人	3 人	4 人	4 人
職員数 (臨時)	-	-	1 人	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00
稼働日数	307 日	159 日	150 日	306 日	254 日
稼働率	84.1%	43.6%	41.1%	83.8%	69.6%
運営経費	40,968,409 円	219,670,832 円	309,298,688 円	50,421,597 円	48,785,779 円

※休館：平成 29 年 10 月 4 日~平成 30 年 9 月末（改修工事）

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	屋上防水等改修工事	3,240,000 円
平成 29 年度	中央公民館複合化改修工事	170,100,000 円
平成 30 年度	中央公民館複合化改修工事	192,528,360 円
平成 30 年度	大ホール等改修工事	36,896,040 円
平成 30 年度	大ホール等空調設備改修工事	14,364,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として、多くの住民が利用している。
施設の現状	・平成 30 年に大規模改修を実施し長寿命化しているが、内部壁の亀裂・大雨での雨漏り等、全体的に老朽化している。
今後の方向性	・平成 30 年に大規模改修を実施し長寿命化しているが、築 40 年以上過ぎているので喫緊ではないが建て替えも検討する必要がある。




# 1 社会施設

## 03. 金ヶ瀬公民館

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	金ヶ瀬公民館	所管課	生涯学習課
所在地	金ヶ瀬字原 88	施設分類	コミュニティ・文化施設
代表建築年度	昭和 60 年（1985 年）度		
建築費	303,990,000 円	取得価額	
延床面積	1,131.00 m <sup>2</sup>		
構造	鉄筋コンクリート		
耐用年数	50 年	経過年数	35 年
耐震化	-	避難所	○
付帯施設	陶芸室・図書室		



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	563 人	567 人	557 人	445 人	287 人
職員数 (正規)	3 人	3 人	4 人	3 人	3 人
職員数 (臨時)	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~21:00	8:30~21:00	8:30~22:00	8:30~22:00	8:30~22:00
稼働日数	308 日	306 日	306 日	306 日	253 日
稼働率	84.4%	83.8%	83.8%	83.8%	69.3%
運営経費	27,896,527 円	27,324,720 円	21,323,581 円	41,916,870 円	29,128,495 円

※利用者数：公民館の利用者人数

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	金ヶ瀬公民館陶芸用窯小屋新設工事（陶芸室）	1,479,600 円
令和元年度	金ヶ瀬公民館非常用放送設備取替修繕	637,200 円
令和 2 年度	金ヶ瀬公民館網戸購入	405,000 円
令和 2 年度	金ヶ瀬公民館トイレ改修	3,685,000 円

### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>金ヶ瀬地区の地域づくりの拠点施設として、地域ニーズに合った事業を展開するとともに地域住民が主体的に施設運営を行う。（公民館）</li> <li>適切な運営管理を行い、利用者が使いやすい公民館の運営を推進する。（公民館）</li> <li>大河原町文化協会に加入している「陶芸愛好会」会員が利用している。（陶芸室）</li> <li>駅前図書館とオンラインでつなぎ必要な図書を相互に貸し出し返却を行う。（図書室）</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨漏りがするようになったため、応急措置が必要。又、壁紙等の破損箇所が見られる。（公民館）</li> <li>平成 29 年度に陶芸用窯小屋新設工事を実施した。（陶芸室）</li> <li>建物自体は建築後、年数が経っているが目立った破損部分などは見当たらない。（図書室）</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築から約 35 年が経過しているため施設の大規模な工事が必要になっている。（公民館）</li> <li>建物自体は建築後、年数が経っているが目立った破損部分などは見当たらない。（陶芸室）</li> <li>建物自体は建築してから年数が経っているが目立った破損部分は見当たらない。今後は破損なども見られる可能性がある。利用者も年間 100 名前後いるため、金ヶ瀬公民館が継続されているうちは図書室も継続が必要と考える。（図書室）</li> </ul>

## 1 社会施設

### 04. 駅前コミュニティセンター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	駅前コミュニティセンター		所管課	地域整備課	
所在地	大谷字町向 126-4		施設分類	コミュニティ・文化施設	
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度				
建築費	938,893,000 円	取得価額			
延床面積	8,000.72 m <sup>2</sup>				
構造	鉄骨造				
耐用年数	29 年	経過年数			21 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	615 人	615 人	599 人	538 人	403 人
職員数（正規）	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人
職員数（臨時）	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	10:00~22:00	10:00~22:00	10:00~22:00	10:00~22:00	10:00~22:00
稼働日数	359 日	359 日	359 日	360 日	298 日
稼働率	98.4%	98.4%	98.4%	98.6%	81.6%
運営経費	18,474,828 円	18,582,749 円	18,852,387 円	19,032,387 円	19,380,880 円

※利用者数：1 日あたりの利用者人数

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	北側外壁修繕工事	17,982,000 円
平成 30 年度	屋上受電施設修繕工事	3,780,000 円
平成 30 年度	冷温水器発生器修繕工事	38,340,000 円
令和元年度	西側外壁修繕工事	6,318,000 円
令和 2 年度	南側外壁修繕工事	7,590,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・大河原駅前地区再開発ビル（オーガ）内に、地域住民の連帯意識を高め、健康で文化的な生活に寄与するとともに、中心市街地活性化のため、コミュニティセンターを設置している。なお、大河原町駅前コミュニティセンター条例上、駅前図書館（生涯学習課管轄）、駐車場（地域整備課管轄）は大河原町駅前コミュニティセンターに含まれる。
施設の現状	・大河原駅前地区再開発ビル管理組合（町も組合員である）が長期の修繕計画を作成し、修繕積立金を利用し、計画的な修繕に努めている。
今後の方向性	・大河原駅前地区再開発ビル管理組合（町も組合員である）が長期の修繕計画を作成し、修繕積立金を利用し、計画的な修繕に努めているため、倒壊等の危険性やビル周辺に悪影響を及ぼす可能性は低いと考える。今後も大河原駅前地区再開発ビルを活用し、住民福祉の向上に努める。

## 1 社会施設

## 05. 東部屋内運動場

## (1) 施設の概要

## ①施設概要

代表建物名称	東部屋内運動場			所管課	生涯学習課	
所在地	字山下 44	施設分類	スポーツ施設			
代表建築年度	平成 22 年（2010 年）度					
建築費	59,834,250 円	取得価額				
延床面積	505.90 m <sup>2</sup>					
構造	鉄骨コンクリート					
耐用年数	34 年	経過年数				10 年
耐震化	-	避難所				○
付帯施設	-					

## ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	10,700 人	11,066 人	9,783 人	8,994 人	8,308 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	5 人	5 人	5 人	5 人	5 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	309 日	308 日	309 日	308 日	254 日
稼働率	84.7%	84.4%	84.7%	84.4%	69.6%
運営経費	4,481,262 円	4,659,940 円	4,719,070 円	4,857,040 円	5,146,810 円

## (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

## (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・住民の健康づくり・体力づくりの推進及び各種スポーツ教室・大会の運営等の施設として町民が利用している。
施設の現状	・令和 2 年度に施設内照明の LED 化を行った。午前・夜間の利用は多いが、13 時~17 時の間の利用があまりない。屋内運動場内床面のゆがみがあり、それに伴い床板を繋ぐ木片が浮いている。
今後の方向性	・不具合のある部分について危険性の除去及び使用頻度等を考慮し、計画的に修繕・改修工事を行う。障害者用・高齢者用の駐車場・トイレなど、施設のバリアフリー化・ユニバーサル化を検討する。 ・令和 3 年度より直営から指定管理へと運営変更。


## 1 社会施設

### 06. 総合体育館

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	総合体育館		所管課	生涯学習課
所在地	字小島 1-7	施設分類	スポーツ施設	
代表建築年度	平成 5 年（1993 年）度			
建築費	1,945,650,000 円	取得価額		
延床面積	5,393.00 m <sup>2</sup>			
構造	鉄筋コンクリート			
耐用年数	47 年	経過年数	27 年	
耐震化	-	避難所	○	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	101,355 人	81,140 人	84,082 人	74,395 人	46,432 人
職員数 (正規)	-	-	-	-	-
職員数 (臨時)	-	-	-	-	-
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	307 日	307 日	309 日	308 日	256 日
稼働率	84.1%	84.1%	84.7%	84.7%	70.1%
運営経費	79,125,418 円	84,972,282 円	92,214,842 円	91,520,242 円	89,779,339 円

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	大河原町総合体育館照明設備制御装置改修工事	4,266,000 円
平成 30 年度	大河原町総合体育館入口外壁タイル修繕工事	1,188,000 円
令和元年度	大河原町総合体育館北側入口階段タイル修繕工事	1,287,000 円
令和 2 年度	大河原町総合体育館キュービクル更新工事	3,278,000 円
令和 2 年度	大河原町総合体育館インターロッキング修繕工事	968,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の健康づくり・体づくりの推進及び各種スポーツ教室・大会の運営等の施設として町民に利用されている。</li> <li>・NPO 法人大河原町スポーツ振興アカデミーに運営委託。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度に施設内と外灯の LED 化を行い、修繕・改修を行っている。</li> <li>・雨漏り、設備関係の不備があり、老朽化が進んでいる。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化・設備不備となっている部分について、劣化調査、修繕計画を令和 4 年度中に委託し、修繕計画に従い工事を行う。</li> </ul>

# 1 社会施設

## 07. 東部集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	東部集会所			所管課	企画財政課
所在地	字錦町 4-1	施設分類	集会所		
代表建築年度	昭和 45 年（1970 年）度				
建築費	25,440,000 円	再調達価額			
延床面積	158.64 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	50 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	2,086 人	1,948 人	1,900 人	1,555 人	856 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	560,316 円	61,644 円	609,982 円	583,704 円	578,934 円

※運営経費：全 28 集会所の施設管理委託料が東部集会所に含まれる

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 50 年経過しており、集会所の中でも最古となっている。 ・軒天井に穴や基礎部分に亀裂が生じており、外観などから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに、将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


## 1 社会施設

### 08. 上谷集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	上谷集会所		所管課	企画財政課
所在地	大谷字上谷前 100-2		施設分類	集会所
代表建築年度	昭和 48 年（1973 年）度			
建築費	33,760,000 円	再調達価額		
延床面積	211.99 m <sup>2</sup>			
構造	木造			
耐用年数	22 年	経過年数	47 年	
耐震化	-	避難所	-	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	3,375 人	1,851 人	1,924 人	1,614 人	580 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	525,591 円	260,142 円	277,219 円	272,670 円	232,507 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>選挙がある場合、選挙の会場として使用している。</li> <li>地震時の避難場所として指定されている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築から 47 年経過し、床のへこみや軋みが生じており、老朽化が進んでいる。</li> <li>選挙会場や避難場所でもあり、利用機会も多い。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地区の活動拠点及び防災面から必要となるため、継続的な修繕を行うとともに、将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。</li> </ul>

# 1 社会施設

## 09. 原前集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	原前集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字原前 73-1			施設分類	集会所
代表建築年度	昭和 50 年（1975 年）度				
建築費	18,560,000 円	再調達価額			
延床面積	116.10 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	45 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,597 人	1,426 人	1,489 人	1,377 人	451 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	316,239 円	203,631 円	215,991 円	405,604 円	183,414 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 45 年経過しており、外壁、基礎への亀裂などから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに、将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


## 1 社会施設

### 10. 稗田前集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	稗田前集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字稗田前 57			施設分類	集会所
代表建築年度	平成 29 年（2017 年）度				
建築費	63,889,560 円	取得価額			
延床面積	188.80 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	3 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）			1,549 人	1,315 人	536 人
職員数（正規）			-	-	-
職員数（臨時）			-	-	-
運営方式			直営	直営	直営
運営時間			9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数			365 日	365 日	365 日
稼働率			100.0%	100.0%	100.0%
運営経費			3,305,396 円	3,334,717 円	3,256,047 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、平成 30 年 3 月 28 日より運営を開始し、多くの地区住民が利用している。</li> <li>災害時地区町民の避難場所として重要な役割を担っている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物が高い場所に位置していることもあり、地盤沈下が生じている。</li> <li>平成 29 年度に新築したため、目立った損傷もなく稼働している。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理人と連携し、定期的なメンテナンスを行い現状維持に努める。</li> </ul>



# 1 社会施設

## 11. 西桜集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	西桜集会所			所管課	企画財政課
所在地	字西桜町 13-7		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 52 年（1977 年）度				
建築費	21,760,000 円	再調達価額			
延床面積	136.89 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	43 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,205 人	1,139 人	1,342 人	1,351 人	472 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	200,974 円	203,889 円	251,415 円	213,815 円	316,868 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 43 年経過しており、土間コンクリートに亀裂が確認でき、外観から老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに、将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


## 1 社会施設

### 12. 金ヶ瀬新町集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	金ヶ瀬新町集会所			所管課	企画財政課
所在地	金ヶ瀬字土手下 149-1		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 53 年（1978 年）度				
建築費	1,980,024 円	再調達価額			
延床面積	147.40 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	42 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	866 人	797 人	677 人	787 人	215 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	196,871 円	212,928 円	196,433 円	2,112,112 円	247,849 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	金ヶ瀬新町集会所トイレ改修工事	1,903,000 円

※施設管理委託料：東部集会所にまとめて記載。

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・平成 24 年 4 月から生活センターから集会所へ移行している。 ・建築から 42 年経過し、外壁塗装が剥がれており、外観から老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。

# 1 社会施設

## 13. 上町集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	上町集会所			所管課	企画財政課
所在地	字中川原 3		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 53 年（1978 年）度				
建築費	25,120,000 円	再調達価額			
延床面積	157.34 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	42 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,162 人	3,624 人	3,684 人	1,888 人	611 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	215,514 円	309,091 円	298,158 円	250,246 円	214,726 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 42 年経過し、外壁、土間コンクリートにひびが生じており外観などから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


## 1 社会施設

### 14. 台部集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	台部集会所		所管課	企画財政課
所在地	金ヶ瀬字台部 28-34		施設分類	集会所
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度			
建築費	16,480,000 円	再調達価額		
延床面積	103.09 ㎡			
構造	木造			
耐用年数	22 年	経過年数	41 年	
耐震化	-	避難所	-	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	418 人	527 人	410 人	333 人	68 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	159,815 円	162,039 円	178,369 円	190,120 円	1,520,376 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和 2 年度	金ヶ瀬台部集会所危険ブロック解消工事	1,100,000 円
令和 2 年度	金ヶ瀬台部集会所ネットフェンス修繕工事	302,500 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>地震・水害時の避難場所として指定されている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築から 41 年経過しており、タイル、外壁塗装の剥がれから老朽化が確認できる。</li> <li>令和 2 年度に台部集会所に設置のあった危険ブロックの撤去を行った。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地区の活動拠点及び防災面から必要となるため、継続的な修繕を行うとともに、将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。</li> </ul>


# 1 社会施設

## 15. 見城前集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	見城前集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字見城前 57-112		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度				
建築費	35,772,000 円	再調達価額			
延床面積	132.49 m <sup>2</sup>				
構造	鉄骨造				
耐用年数	27 年	経過年数	41 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	2,332 人	2,257 人	2,324 人	2,534 人	1,113 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	343,598 円	261,220 円	255,746 円	267,843 円	223,173 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 41 年経過しており、外壁・基礎に亀裂が生じていることから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


## 1 社会施設

### 16. 保料集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	保料集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字保料前 54-48		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 56 年（1981 年）度				
建築費	20,000,000 円	再調達価額			
延床面積	125.04 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	39 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,291 人	1,290 人	1,355 人	1,250 人	371 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.3%
運営経費	363,947 円	855,644 円	223,441 円	1,324,811 円	197,639 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	保料集会所集会室床他改修工事	540,000 円
令和元年度	保料集会所緊急車両等搬入口整備工事	902,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 39 年経過しており、外観などから老朽化が確認できる。 ・隣地である保料公園が避難場所の指定を受けていることから、令和元年度に災害時緊急物資等の運搬スペース及び緊急車両の搬入口の整備工事を行った。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


# 1 社会施設

## 17. 尾形丁集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	尾形丁集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字盛 18-2		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 57 年（1982 年）度				
建築費	22,560,000 円	再調達価額			
延床面積	140.78 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	38 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	977 人	713 人	771 人	680 人	194 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	330,057 円	292,710 円	193,012 円	200,902 円	248,382 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 38 年経過しており、外観などから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。

## 1 社会施設

### 18. むつみ集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	むつみ集会所			所管課	企画財政課	
所在地	大谷字末広 4-1		施設分類	集会所		
代表建築年度	昭和 58 年（1983 年）度					
建築費	24,800,000 円	再調達価額				
延床面積	154.58 m <sup>2</sup>					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数				37 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	2,559 人	2,347 人	1,870 人	1,579 人	439 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	778,854 円	415,904 円	272,122 円	289,283 円	245,358 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	むつみ集会所集会所室床改修工事	540,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 37 年経過しており、外観などから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。



# 1 社会施設

## 19. 上川原集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	上川原集会所			所管課	企画財政課
所在地	字東原町 3-1	施設分類	集会所		
代表建築年度	昭和 59 年（1984 年）度				
建築費	25,280,000 円	再調達価額			
延床面積	187.70 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	36 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	4,071 人	3,611 人	3,295 人	3,177 人	1,339 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	361,064 円	339,242 円	326,021 円	513,201 円	264,732 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 36 年経過しており、基礎及び土間コンクリートにひびが生じており、外観などから老朽化が確認できる。 ・地盤沈下が発生している。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。

## 1 社会施設

### 20. 丑越集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	丑越集会所			所管課	企画財政課
所在地	字緑町 18-9		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 59 年（1984 年）度				
建築費	24,800,000 円	再調達価額			
延床面積	154.58 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	36 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	4,262 人	3,189 人	3,201 人	2,951 人	1,313 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	306,343 円	303,996 円	326,006 円	269,679 円	343,280 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>選挙がある場合、選挙の会場として使用している。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築から 36 年経過しており、タイルの剥がれなどから老朽化が確認できる。</li> <li>選挙会場や避難場所でもあり、利用人数が多い。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。</li> </ul>


# 1 社会施設

## 21. 本町集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	本町集会所			所管課	企画財政課
所在地	字西町 135		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 58 年（1983 年）度				
建築費	22,080,000 円	再調達価額			
延床面積	137.46 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	37 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,918 人	1,772 人	1,618 人	1,420 人	415 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	436,380 円	258,630 円	230,865 円	536,386 円	297,808 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	大河原町本町集会所雨樋外修繕工事	313,200 円

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 37 年経過しており、外壁などに亀裂が生じていることから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。

## 1 社会施設

### 22. 幸中島町集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	幸中島町集会所			所管課	企画財政課
所在地	字幸町 6-3	施設分類	集会所		
代表建築年度	昭和 59 年（1984 年）度				
建築費	25,280,000 円	再調達価額			
延床面積	157.89 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	36 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	3,185 人	2,699 人	2,654 人	2,175 人	544 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	306,974 円	301,138 円	314,782 円	280,741 円	314,822 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 36 年経過しており、外観などから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。

# 1 社会施設

## 23. 二本松集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	二本松集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字原前 98-27		施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 60 年（1985 年）度				
建築費	23,200,000 円	取得価額			
延床面積	145.47 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	35 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,815 人	2,130 人	2,255 人	1,981 人	219 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	372,498 円	1,340,209 円	233,671 円	228,036 円	718,300 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	二本松集会所広場遊具設置工事	1,080,000 円
令和 2 年度	二本松集会所フェンス設置工事	484,000 円

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 35 年経過しており、外壁塗装に亀裂が生じていることから老朽化が確認できる。 ・平成 29 年度に敷地内に遊具を設置、令和 2 年度に児童の安全面を考慮し、フェンス設置工事を実施した。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


## 1 社会施設

### 24. 東桜集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	東桜集会所		所管課	企画財政課
所在地	字東桜町 10-26	施設分類	集会所	
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度			
建築費	24,640,000 円	取得価額		
延床面積	154.57 ㎡			
構造	木造			
耐用年数	22 年	経過年数	34 年	
耐震化	-	避難所	-	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	875 人	935 人	1,166 人	1,405 人	381 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	179,876 円	183,393 円	244,128 円	253,967 円	199,857 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 34 年経過しており、外壁タイルなどに亀裂が生じていることから老朽化が確認できる。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。

# 1 社会施設

## 25. 中町集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	中町集会所			所管課	企画財政課
所在地	字新南 22-4	施設分類	集会所		
代表建築年度	昭和 62 年（1987 年）度				
建築費	25,120,000 円	取得価額			
延床面積	157.89 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	33 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,083 人	1,828 人	2,284 人	1,920 人	1,117 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	305,242 円	274,820 円	276,659 円	254,113 円	224,792 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 33 年経過しており、老朽化が進んでいる。 ・大きな損傷はないが、継続的な修繕対策が必要である。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。

## 1 社会施設

### 26. 南桜集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	南桜集会所		所管課	企画財政課	
所在地	字南桜町 11-5	施設分類	集会所		
代表建築年度	平成 2 年（1990 年）度				
建築費	26,080,000 円	取得価額			
延床面積	163.96 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数			30 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,186 人	1,137 人	1,135 人	1,078 人	424 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	202,533 円	270,734 円	219,759 円	219,131 円	199,604 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 30 年経過しており、老朽化が進んでいる。 ・大きな損傷はないが、継続的な修繕対策が必要である。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。



# 1 社会施設

## 27. 上谷東集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	上谷東集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字上谷前 41-20			施設分類	集会所
代表建築年度	平成3年（1991年）度				
建築費	29,065,000 円	取得価額			
延床面積	129.18 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	29 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	263 人	311 人	380 人	236 人	125 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	151,688 円	159,910 円	176,636 円	180,655 円	169,845 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上。

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 29 年経過しており、老朽化が進んでいる。 ・大きな損傷はないが、継続的な修繕対策が必要である。
今後の方向性	・今後も地区の活動拠点として必要となるため、継続的な修繕を行うとともに将来的に集約化または建て直しの検討が必要となる。


## 1 社会施設

### 28. 新開集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	新開集会所		所管課	企画財政課
所在地	金ヶ瀬字新開 52-3		施設分類	集会所
代表建築年度	平成 5 年（1993 年）度			
建築費	16,406,000 円	取得価額		
延床面積	74.52 m <sup>2</sup>			
構造	木造			
耐用年数	22 年	経過年数	27 年	
耐震化	-	避難所	-	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	393 人	360 人	385 人	178 人	59 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	155,266 円	719,451 円	177,147 円	180,881 円	166,454 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上。

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	新開集会所フェンス設置工事	453,600 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>地震・水害時の避難場所として指定されている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築から 27 年経過しており、老朽化が進んでいる。</li> <li>大きな損傷はないが、継続的な修繕対策が必要である。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理人と連携し、継続的な修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>


# 1 社会施設

## 29. 福田集会所

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	福田集会所			所管課	企画財政課
所在地	福田字中添 160-2		施設分類	集会所	
代表建築年度	平成6年（1994年）度				
建築費	17,107,000円	取得価額			
延床面積	89.43㎡				
構造	木造				
耐用年数	22年	経過年数	26年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）	448人	396人	553人	519人	114人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365日	365日	365日	365日	365日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	734,675円	152,023円	280,261円	179,465円	160,213円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>・地震・水害時の避難場所として指定されている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築から26年経過しており、老朽化が進んでいる。</li> <li>・大きな損傷はないが、継続的な修繕対策が必要である。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理人と連携し、継続的な修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>

## 1 社会施設

### 30. 金ヶ瀬中央集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	金ヶ瀬中央集会所		所管課	企画財政課	
所在地	金ヶ瀬字町 39-5		施設分類	集会所	
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度				
建築費	38,112,000 円	取得価額			
延床面積	173.07 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数			24 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,212 人	1,290 人	1,086 人	1,045 人	140 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	1,979,092 円	1,978,487 円	1,548,111 円	313,065 円	750,189 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和 2 年度	金ヶ瀬中央集会所外壁修繕工事	423,500 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 24 年経過しており、外壁の剥がれなど老朽化が進んでいる。 ・大きな損傷はないが、継続的な修繕対策が必要である。 ・令和 2 年度に外壁が剥がれ落ちていたため、修繕工事を実施した。
今後の方向性	・管理人と連携し、継続的な修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

# 1 社会施設

## 31. 住吉町研修交流センター

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	住吉町研修交流センター			所管課	企画財政課
所在地	字住吉町 8-20		施設分類	集会所	
代表建築年度	平成 13 年（2001 年）度				
建築費	28,634,000 円	取得価額			
延床面積	155.00 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	19 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	2,017 人	2,198 人	1,830 人	1,758 人	429 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	1,654,032 円	1,652,551 円	1,652,019 円	1,696,538 円	1,530,991 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。
施設の現状	・建築から 19 年経過しているが、問題なく利用できている。 ・目立った損傷は見られない。
今後の方向性	・管理人と連携し、現状維持及び適宜修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

## 1 社会施設

### 32. 金ヶ瀬東集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	金ヶ瀬東集会所			所管課	企画財政課
所在地	字東新町 11-4	施設分類	集会所		
代表建築年度	平成 21 年（2009 年）度				
建築費	22,837,500 円	取得価額			
延床面積	163.45 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	11 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	3,001 人	2,948 人	2,743 人	2,100 人	811 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	1,433,127 円	1,455,337 円	1,400,994 円	1,379,871 円	1,312,906 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>地震時の避難場所として指定されている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 21 年度に新築し、問題なく利用できている。</li> <li>目立った損傷は見られない。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理人と連携し、現状維持及び適宜修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>

## 1 社会施設

### 33. 西原集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	西原集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字西原前 167-15			施設分類	集会所
代表建築年度	平成 27 年（2015 年）度				
建築費	56,945,480 円	取得価額			
延床面積	186.73 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	5 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,610 人	1,260 人	1,205 人	1,023 人	291 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,189,859 円	2,986,893 円	3,008,531 円	3,007,121 円	2,931,657 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	西原集会所西側軒樋設置工事	226,800 円

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>・災害時地区町民の避難場所として重要な役割を担っている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度に新築し、目立った損傷はなく問題なく利用している。</li> <li>・平成 28 年度に西側軒樋設置工事を実施している。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理人と連携し、現状維持及び適宜修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>

## 1 社会施設

### 34. 橋本交流センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	橋本交流センター		所管課	企画財政課	
所在地	字西 468-1	施設分類	集会所		
代表建築年度	平成 26 年（2014 年）度				
建築費	92,938,470 円	取得価額			
延床面積	170.85 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数			6 年
耐震化	-	避難所			○
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,465 人	874 人	949 人	1,007 人	441 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	4,634,092 円	4,650,622 円	4,658,277 円	5,082,280 円	4,620,996 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	大河原町橋本交流センター浄化槽漏水修繕	396,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用している。</li> <li>選挙がある場合、選挙の会場として使用している。</li> <li>災害時地区町民の避難場所として重要な役割を担っている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度に新築し、目立った損傷はなく問題なく利用している。</li> <li>強い地震のたびに、浄化槽の損傷がみられ、令和元年度に浄化槽の漏水修繕を実施している。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理人と連携し、現状維持及び適宜修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>




# 1 社会施設

## 35. 小山田生活センター

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	小山田生活センター			所管課	農政課
所在地	小山田字新竹ノ内 7-2		施設分類	コミュニティ・文化施設	
代表建築年度	昭和 48 年（1973 年）度				
建築費	5,680,000 円	再調達価額			
延床面積	134.21 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	47 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	49 件	49 件	60 件	66 件	19 件
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助
運営時間	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	106,805 円	600,294 円	119,366 円	963,308 円	158,237 円

※利用者数：施設利用件数

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	収納庫改修工事	490,320 円
令和元年度	エアコン設置工事	724,680 円

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・小山田区民を中心に、地域コミュニティの拠点として、区民個人、各種団体等が利用している。
施設の現状	・建築年が昭和 48 年で 47 年が経過し、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・今後は、集会所施設への一元化や複数施設の集約化または解体を検討する必要がある。


## 1 社会施設

### 36. 小島生活センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	小島生活センター			所管課	農政課
所在地	字千塚前 82		施設分類	コミュニティ・文化施設	
代表建築年度	昭和 49 年（1974 年）度				
建築費	6,699,000 円	再調達価額			
延床面積	121.28 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	46 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	70 件	70 件	107 件	94 件	63 件
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助
運営時間	8:00~19:00	8:00~19:00	8:00~19:00	8:00~19:00	8:00~19:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	121,781 円	273,074 円	316,439 円	2,087,936 円	151,755 円

※利用者数：施設利用件数

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	軒天・塗り壁、破風雨樋塗装工事	1,009,800 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・小島区民を中心に、地域コミュニティの拠点として、区民個人、各種団体等が利用している。
施設の現状	・建築年が昭和 49 年で 46 年が経過し、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・今後は、集会所施設への一元化や複数施設の集約化または取り壊しを検討する必要がある。

# 1 社会施設

## 37. 新田町生活センター

### (1) 施設の概要

#### ①施設概要

代表建物名称	新田町生活センター			所管課	農政課
所在地	字西桜町 4		施設分類	コミュニティ・文化施設	
代表建築年度	昭和 51 年（1976 年）度				
建築費	8,112,000 円	再調達価額			
延床面積	144.18 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	44 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



#### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	40 件	40 件	44 件	60 件	30 件
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	191,795 円	96,374 円	1,526,112 円	99,030 円	88,533 円

※利用者数：施設利用件数

### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	外壁重ね貼り工事	1,425,600 円

### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・新田町区民を中心に、地域コミュニティの拠点として、区民個人、各種団体等が利用している。
施設の現状	・建築年が昭和 51 年で 44 年が経過し、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・今後は、集会所施設への一元化や複数施設の集約化または取り壊しを検討する必要がある。


## 1 社会施設

### 38. 上大谷生活センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	上大谷生活センター		所管課	農政課
所在地	大谷字上原 17-3		施設分類	コミュニティ・文化施設
代表建築年度	昭和 50 年（1975 年）度			
建築費	7,100,000 円	再調達価額		
延床面積	138.84 m <sup>2</sup>			
構造	木造			
耐用年数	22 年	経過年数	45 年	
耐震化	-	避難所	-	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	38 件	38 件	43 件	36 件	12 件
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	87,246 円	1,933,385 円	112,305 円	168,948 円	601,335 円

※利用者数：施設利用件数

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	エアコン設置工事	539,568 円
平成 29 年度	屋根張替工事	1,026,000 円
令和 2 年度	ミーティングルーム床改修工事	479,600 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・上大谷区民を中心に、地域コミュニティの拠点として、区民個人、各種団体等が利用している。
施設の現状	・建築年が昭和 50 年で 45 年が経過し、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・今後は、集会所施設への一元化や複数施設の集約化または取り壊しを検討する必要がある。


## 1 社会施設

## 39. 堤生活センター

## (1) 施設の概要

## ①施設概要

代表建物名称	堤生活センター			所管課	農政課
所在地	堤字道添 1-2		施設分類	コミュニティ・文化施設	
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度				
建築費	6,742,000 円	再調達価額			
延床面積	147.4 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	41 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



## ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	38 件	38 件	43 件	36 件	12 件
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助
運営時間	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	197,251 円	71,642 円	127,124 円	68,285 円	158,882 円

※利用者数：施設利用件数

## (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

## (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・堤 1・2 区民を中心に、地域コミュニティの拠点として、区民個人、各種団体等が利用している。
施設の現状	・建築年が昭和 54 年で 41 年が経過し、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・今後は、集会所施設への一元化や複数施設の集約化または取り壊しを検討する必要がある。


## 1 社会施設

### 40. 新寺生活センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	新寺生活センター			所管課	農政課
所在地	新寺字本屋敷 86-4			施設分類	コミュニティ・文化施設
代表建築年度	昭和 55 年（1980 年）度				
建築費	6,791,000 円	再調達価額			
延床面積	147.0 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	40 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	34 件	34 件	31 件	30 件	7 件
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助
運営時間	5:00~21:00	5:00~21:00	5:00~21:00	5:00~21:00	5:00~21:00
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	197,706 円	135,754 円	174,305 円	126,915 円	232,238 円

※利用者数：施設利用件数

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・新寺区民を中心に、地域コミュニティの拠点として、区民個人、各種団体等が利用している。
施設の現状	・建築年が昭和 55 年で 40 年が経過し、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・今後は、集会所施設への一元化や複数施設の集約化または取り壊しを検討する必要がある。

## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 41. 仙南夜間初期急患センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	仙南夜間初期急患センター			所管課	健康推進課
所在地	字西 38-1	施設分類	医療施設		
代表建築年度	平成 26 年（2014 年）度				
建築費	93,995,640 円	取得価額			
延床面積	284.86 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	24 年	経過年数	6 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	903 人	1,118 人	1,433 人	1,218 人	492 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	7 人	7 人	7 人	7 人	7 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	18:45~22:00	18:45~22:00	18:45~22:00	18:45~22:00	18:45~22:00
稼働日数	243 日	244 日	244 日	240 日	243 日
稼働率	66.6%	66.8%	66.8%	65.8%	66.6%
運営経費	53,923,121 円	51,693,414 円	52,257,534 円	39,440,476 円	39,466,957 円

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・平日夜間の初期救急医療体制を整備し、住民が安心できる救急医療体制の構築を図る。
施設の現状	・仙南 2 市 7 町で運営。現在のところ大きな改修等はない。
今後の方向性	・現在のところ改修等は必要ないが、年数が経過すれば改修等が必要になる。


## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 42. 福祉センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	福祉センター			所管課	福祉課
所在地	字南 69	施設分類	保健福祉施設		
代表建築年度	平成 13 年（2001 年）度				
建築費	197,200,000 円	取得価額			
延床面積	675.21 m <sup>2</sup>				
構造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	50 年	経過年数	19 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	950 人	2,592	3,393 人	3,190 人	2,878 人
職員数（正規）	7 人	8 人	8 人	8 人	9 人
職員数（臨時）	3 人	3 人	2 人	2 人	4 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	243 日	244 日	248 日	244 日	243 日
稼働率	66.6%	66.8%	67.9%	66.8%	66.6%
運営経費	37,814,624 円	39,101,889 円	40,153,498 円	41,476,196 円	36,230,658 円

※職員数：社会福祉協議会の職員数

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	福祉センターエレベーター修繕工事	307,800 円
平成 30 年度	福祉センター高圧気中開閉器（PAS）と LBS 更新工事	777,600 円
令和 2 年度	福祉センター屋上等補修工事	561,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・地域福祉の推進を図る拠点施設として、各種会議や各種事業に利用されている。また、社会福祉法人大河原町社会福祉協議会の事務所としても利用している。
施設の現状	・法務省より法務局と利用していた建物等を町が買い取り、平成 13 年度に改修を行い福祉センターとして利用している。近年では建物や設備が古いことから修繕や更新、補修を行いながら利用している。
今後の方向性	・補修や更新を継続し長寿命化を行いながら障害者通所援護施設等との集約を検討していきたい。



## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 43. 保健センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	保健センター			所管課	健康推進課	
所在地	字新南 7-1	施設分類	保健福祉施設			
代表建築年度	昭和 58 年（1983 年）度					
建築費	181,480,000 円	再調達価額				
延床面積	697.80 m <sup>2</sup>					
構造	鉄筋コンクリート					
耐用年数	50 年	経過年数				37 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	6,108 人	6,230 人	6,133 人	5,880 人	919 人
職員数 (正規)	-	-	-	-	-
職員数 (臨時)	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	243 日	246 日	245 日	239 日	243 日
稼働率	66.6%	67.4%	67.1%	65.8%	66.6%
運営経費	7,349,274 円	5,263,390 円	7,366,332 円	9,059,897 円	5,084,045 円

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	保健センター床張替工事	2,516,400 円
平成 28 年度	保健センター鋼製建具修繕工事	345,600 円
平成 30 年度	保健センター壁クロス張替工事	1,832,760 円
平成 30 年度	保健センター給水管敷設工事	615,600 円
令和元年度	保健センタートイレ改修工事	3,350,600 円

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・ 町民の健康の保持及び増進を図るために事業を行う。現在は、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため成人の健（検）診は総合体育館など広い会場を使用するため、乳幼児健診、相談事業の利用が主となっている。
施設の現状	・ 平成 28 年度には床のカーペットの張り替え、平成 30 年度には壁クロス張り替えをし、令和元年度にはトイレの改修工事をして、利用している。令和 3 年度の点検時には 2 階の蛍光灯兼用非常灯が点滅せず修理が必要だが、年数がたっており部品がないため、新しいものと交換しなければならない。以前修繕したが、屋上に草木が生え目地に入り込み、盛り上がっている。
今後の方向性	・ 建築後年数が経っているため修繕、改修が必要な箇所が出てくる可能性が高い。

## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 44. 福祉作業所さくら

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	作業所		所管課	福祉課	
所在地	大谷字上谷前 100-84		施設分類	保健福祉施設	
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建築費	44,631,000 円	取得価額			
延床面積	201.18 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数			26 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	作業所 1 棟・物置 2 棟				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	3,027 人	3,020 人	3,032 人	2,671 人	2,172 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	8:30~16:00	8:30~16:00	8:30~16:00	8:30~16:00	8:30~16:00
稼働日数	237 日	237 日	237 日	235 日	225 日
稼働率	64.9%	64.9%	64.9%	64.9%	61.6%
運営経費	10,845,605 円	9,637,289 円	10,524,329 円	10,383,929 円	10,432,863 円

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	福祉作業所さくら電磁調理器設置工事（作業所）	410,400 円
令和 2 年度	大河原町福祉作業所さくら複層ガラス等改修工事（作業所）	1,138,500 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町障害者通所援護施設条例に基づき設置された施設であり、障がい者の日常生活の支援や社会参加の支援などを行う。
施設の現状	・利用環境向上のため改修工事や設備の更新を行っている。度重なる地震により建物に亀裂や段差が生じている。
今後の方向性	・長寿命化を行う。また、現利用者の状況を考慮しながら、更なる日常生活の支援や社会参加の支援を行うため集約化も含め検討していく。


## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 45. 桜保育所(旧)

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	桜保育所(旧)			所管課	子ども家庭課
所在地	字南桜町 5-6			施設分類	子育て支援施設
代表建築年度	昭和 49 年 (1974 年) 度				
建築費	136,488,000 円	再調達価額			
延床面積	726.00 m <sup>2</sup>				
構造	軽量鉄骨造				
耐用年数	27 年	経過年数	46 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	休憩室				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	1,284 人	1,356 人	1,347 人	1,378 人	1,361 人
職員数 (正規)	14 人	14 人	15 人	16 人	14 人
職員数 (臨時)	21 人	20 人	18 人	18 人	19 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	7:15~18:45	7:15~18:45	7:15~18:45	7:15~18:45	7:15~18:45
稼働日数	293 日	293 日	293 日	290 日	288 日
稼働率	80.3%	80.3%	80.3%	79.5%	78.9%
運営経費	118,043,370 円	115,444,142 円	115,631,756 円	151,415,239 円	124,415,381 円

※令和 3 年 3 月 21 日まで旧保育所で運営

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	5 歳児保育室床張り替え修繕	637,200 円
平成 29 年度	4 歳児保育室床張り替え修繕	766,800 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・保護者の就労等の状況に合わせた、乳幼児の保育を行う。
施設の現状	・令和 3 年 3 月 22 日から新保育所へ移転。
今後の方向性	・旧保育所は、令和 3 年度に解体撤去済み。


## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 46. 上谷児童館

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	上谷児童館			所管課	子ども家庭課
所在地	大谷字上谷前 41-10		施設分類	子育て支援施設	
代表建築年度	昭和 52 年（1977 年）度				
建築費	78,584,000 円	再調達価額			
延床面積	418.00 ㎡				
構造	鉄骨造				
耐用年数	34 年	経過年数	43 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	19,097 人	19,706 人	15,725 人	16,764 人	17,491 人
職員数（正規）	4 人	4 人	4 人	4 人	2 人
職員数（臨時）	3 人	3 人	5 人	5 人	6 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:30~18:15	9:30~18:15	9:30~18:15	9:30~18:15	9:30~18:15
稼働日数	291 日	292 日	291 日	290 日	288 日
稼働率	79.7%	80.8%	79.7%	79.5%	78.9%
運営経費	38,426,372 円	41,663,674 円	38,343,940 円	36,012,519 円	35,936,043 円

※運営時間：学校休業日については 8:00~18:15

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	テラス修繕	473,000 円
令和 2 年度	トイレ転用工事	312,400 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・児童館として「子育て支援事業」や「地域組織活動場所の提供」「放課後児童クラブ運営」を行っている。
施設の現状	・施設内外の点検等を行い、必要に応じて修繕を行っている。耐用年数を経過しており施設全体の老朽化が進んでいる。収納場所も足りず何とか工夫して収納しているが、児童クラブ室が手狭になっている。
今後の方向性	・修繕等は行っているが、なかなか追いつかないところもある。子育て支援事業で乳幼児も来館しているが、床はタイル張りで固く危険を感じる時があり、耐用年数が経過していることから建替え等の検討が必要である。

## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 47. 大河原児童センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	大河原児童センター			所管課	子ども家庭課
所在地	字町 100-4	施設分類	子育て支援施設		
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度				
建築費	94,716,000 円	取得価額			
延床面積	349.46 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	24 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	28,757 人	12,565 人	13,108 人	17,566 人	17,491 人
職員数（正規）	4 人	3 人	3 人	3 人	3 人
職員数（臨時）	4 人	4 人	4 人	9 人	9 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:30~18:15	9:30~18:15	9:30~18:15	9:30~18:15	9:30~18:15
稼働日数	291 日	292 日	293 日	290 日	288 日
稼働率	79.7%	80.0%	80.3%	79.5%	78.9%
運営経費	55,656,761 円	33,272,606 円	29,515,974 円	32,771,415 円	40,545,000 円

※運営時間：児童クラブ 1 日保育については 8:00~18:15

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	児童センター玄関修繕	498,960 円
令和元年度	児童センター駐車場修繕	399,600 円

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・保護者の就労により、留守家庭となる児童の預かり。乳児から大人まで、地域の子どもたちの健全な育成を図るための場の提供と支援、またそれらに関わる団体などが利用している。
施設の現状	・老朽化も進み、これまでも必要箇所の修繕を行っている。分散保育が必要な時には、利用者も多いため手狭となっている箇所もある。
今後の方向性	・目立った劣化箇所は、それほど見られないものの、耐用年数も超えているため引き続き点検等の実施により安全面に考慮していきたい。専門業者による点検等も必要である。

## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 48. 世代交流いきいきプラザ

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	世代交流いきいきプラザ		所管課	子ども家庭課	
所在地	大谷字末広 50-1		施設分類	子育て支援施設	
代表建築年度	平成 25 年（2013 年）度				
建築費	411,853,050 円	取得価額			
延床面積	1,310.77 m <sup>2</sup>				
構造	鉄骨造				
耐用年数	38 年	経過年数			7 年
耐震化	-	避難所			○
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	25,141 人	57,835 人	64,287 人	54,403 人	21,755 人
職員数（正規）	4 人	5 人	6 人	5 人	5 人
職員数（臨時）	5 人	13 人	12 人	15 人	13 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
稼働日数	359 日	359 日	359 日	352 日	286 日
稼働率	98.4%	98.4%	98.4%	96.2%	78.4%
運営経費	35,981,407 円	69,342,817 円	69,257,660 円	66,026,953 円	74,177,013 円

※利用者数：各部屋の利用人数を合算。※運営時間：個々に差異有り

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉機能（児童クラブ・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター等）</li> <li>・地域間、世代間の交流機能（げんきサロン）</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設開所後、ホール天井雨漏り・児童クラブ用（西口）玄関のドア・室内ホール出入口ドア・ホール天井ダウンライト・自動ドア等修繕を随時行ってきた。また令和 3 年 2～3 月に発生した地震の影響によるプラザ屋内修繕箇所（巾木・室内壁面亀裂・エアコン機器や非常照明照機器のずれ・エアコンドレン等）については、令和 2～3 年度に修繕を行った。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的に年数を経過すれば、大規模改修（長寿命化）が必要になると思われる。</li> </ul>

## 2 医療保健福祉・子育て支援施設

### 49. 桜保育所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	桜保育所			所管課	子ども家庭課
所在地	字南桜町 15		施設分類	子育て支援施設	
代表建築年度	令和2年（2020年）度				
建築費	570,000,000 円	取得価額			
延床面積	1343.88 m <sup>2</sup>				
構造	木造二階建				
耐用年数	22 年	経過年数	0 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）					
職員数（正規）					
職員数（臨時）					
運営方式					
運営時間					
稼働日数					
稼働率					
運営経費					

※令和3年3月21日まで旧桜保育所で運営。

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・保護者の就労等の状況に合わせた、乳幼児の保育を行う。
施設の現状	・令和3年3月22日から新保育所へ移転、旧保育所は、令和3年度に解体撤去。
今後の方向性	・新保育所の利便性を十分に活用しながら、維持管理していく。

### 3 住宅施設

#### 50. 旧末広医師住宅

##### (1) 施設の概要

###### ①施設概要

代表建物名称	旧末広医師住宅		所管課	企画財政課	
所在地	大谷字末広 116-2		施設分類	その他住宅	
代表建築年度	昭和49年（1974年）度				
建築費	13,330,000 円	再調達価額			
延床面積	86.00 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数			46 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

###### ②利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	貸付	貸付	貸付	貸付	貸付
運営時間	-	-	-	-	-
稼働日数	-	-	-	-	-
稼働率	-	-	-	-	-
運営経費	5,332 円	5,065 円	5,065 円	5,065 円	5,538 円

##### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

##### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・以前町立病院の医師等の住宅であったところを、一般住民に貸付している。
施設の現状	・建築から46年経過し、外壁に損傷が出ており、老朽化が進んでいる。 ・ベランダの鉄骨等に錆がみられ、腐食が著しく、危険である。
今後の方向性	・老朽化が著しいため、解体を検討する必要がある。



### 3 住宅施設

#### 51. 旧保料医師住宅

##### (1) 施設の概要

###### ①施設概要

代表建物名称	旧保料医師住宅			所管課	企画財政課
所在地	大谷字下川原 30-2		施設分類	その他住宅	
代表建築年度	昭和 50 年（1975 年）度				
建築費	13,020,000 円	再調達価額			
延床面積	84.00 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	45 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



###### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	貸付	貸付	貸付	貸付	貸付
運営時間	-	-	-	-	-
稼働日数	-	-	-	-	-
稼働率	-	-	-	-	-
運営経費	5,208 円	4,947 円	4,947 円	4,947 円	5,409 円

##### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

##### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・以前町立病院の医師等の住宅であったところを、社会福祉法人に貸付している。
施設の現状	・建築から 45 年経過しており、鉄骨の柵が錆により腐食しており、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・老朽化が著しいため、将来的に解体を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 52. 旧さぎ沼荘

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	旧さぎ沼荘			所管課	企画財政課
所在地	大谷字鷺沼入 39-68		施設分類	庁舎等	
代表建築年度	昭和46年（1971年）度				
建築費	49,560,000円	再調達価額			
延床面積	546.00㎡				
構造	木造				
耐用年数	22年	経過年数	49年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	365日	365日	365日	365日	365日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	9,887円	9,612円	9,612円	9,612円	8,891円

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・役場の各資材等や防災資材を保存する倉庫として使用している。
施設の現状	・老朽化による損傷が見られ、床天井の亀裂が著しい。
今後の方向性	・老朽化が著しいため、今後解体を検討する。

## 4 行政施設

### 53. 大河原町地方卸売市場

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	大河原町地方卸売市場			所管課	商工観光課
所在地	字新東 19-2	施設分類	庁舎等		
代表建築年度	昭和 48 年（1973 年）度				
建築費	102,626,000 円	再調達価額			
延床面積	1,256.00 m <sup>2</sup>				
構造	鉄骨造				
耐用年数	38 年	経過年数	47 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	2,800 人	2,700 人	2,700 人	2,650 人	2,600 人
職員数 (正規)	13 人	12 人	12 人	12 人	11 人
職員数 (臨時)	-	-	-	-	-
運営方式	貸付	貸付	貸付	貸付	貸付
運営時間	7:45~10:00	7:45~10:00	7:45~10:00	7:45~10:00	7:45~10:00
稼働日数	276 日	264 日	264 日	274 日	264 日
稼働率	75.6%	72.3%	72.3%	74.9%	72.3%
運営経費	3,622,981 円	3,403,147 円	3,618,248 円	2,591,108 円	2,747,003 円

※職員数：卸売市場が雇用している職員数

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	市場シャッター改修工事	658,800 円
令和元年度	市場シャッター改修工事	1,861,640 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>大河原町地方卸売市場は、生鮮食料品の価格の適正化とその生産及び流通の円滑化を目的として開設している。平成 22 年には白石市、角田市の地方卸売市場と合併し、宮城県仙南地域の生産者の出荷先、飲食・小売業、スーパー、宿泊業等の買付先として、安定かつ適正な価格での流通拠点としての役割を担っている。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者、買受人の高齢化、担い手不足、少子高齢化に伴う人口減少による食料消費量の減少、消費者ニーズの多様化や市場外流通の拡大等により取扱量は減少傾向にある。加えて近年続いている異常気象により、取扱量が見通せない状況にある。</li> <li>施設の老朽化が進んでいる。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱数量が減少傾向にあるが、一方で安定的かつ適正価格での出荷先、仕入先として必要としている生産者、買受人もあり、また消費者への生鮮食料品の安定供給、公正な価格形成といった公共的機能の役割を維持するため事業の継続が必要であり、計画的修理、改修による長寿命化、あわせて今後の需要の状況により他地方卸売市場との統合や、農業関係団体等による卸売事業の運営を検討する。</li> </ul>

## 4 行政施設

### 54. 学校給食センター

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	学校給食センター		所管課	教育総務課
所在地	金ヶ瀬字原 104 番地 1		施設分類	庁舎等
代表建築年度	令和元年（2019年）度			
建築費	1,189,944,000 円	取得価額		
延床面積	1786.26 m <sup>2</sup>			
構造	鉄骨造			
耐用年数	31 年	経過年数	1 年	
耐震化	-	避難所	-	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）				-	-
職員数（正規）				3 人	2 人
職員数（臨時）				-	-
運営方式				一部委託	一部委託
運営時間				8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数				160 日	243 日
稼働率				43.8%	66.6%
運営経費				226,180,482 円	273,866,236 円

※運営開始：令和元年 8 月 1 日

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・町内各小中学校の学校給食業務を一括処理するため、共同調理場である「学校給食センター」を設置し、学校給食の適正な運営を図る。
施設の現状	・学校給食センターは、令和元年 7 月に完成し、同年 8 月から供用開始。地震等による修繕箇所が見受けられるが、現在のところ大きな改修は無い。
今後の方向性	・将来的に、15 年から 20 年を経過すれば大規模改修（長寿命化）が必要となる。

## 4 行政施設

### 55. 大河原町役場

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	役場庁舎	所管課	企画財政課
所在地	字新南 19	施設分類	庁舎等
代表建築年度	昭和 59 年（1984 年）度		
建築費	1,515,142,000 円	再調達価額	
延床面積	6,339.08 m <sup>2</sup>		
構造	鉄筋コンクリート		
耐用年数	50 年	経過年数	36 年
耐震化	-	避難所	-
付帯施設	車庫・倉庫棟 1 棟、車庫・事務所棟 1 棟 LPG ボンベ・物置棟 1 棟、防災倉庫棟 1 棟		



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	36,833 件	29,711 件	36,336 件	35,823 件	30,664 件
職員数 (正規)	150 人	150 人	151 人	153 人	154 人
職員数 (臨時)	127 人	151 人	140 人	162 人	165 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	243 日	246 日	245 日	239 日	243 日
稼働率	66.3%	67.4%	67.9%	65.8%	65.8%
運営経費	1,526,188,557 円	1,488,213,622 円	1,454,883,742 円	1,502,428,855 円	1,503,419,419 円

※利用者数：戸籍・住民票・印鑑証明等交付件数 ※職員数：非常勤職員数 ※運営経費：全職員分の人件費が含まれる

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工費
平成 28 年度	大河原町役場庁舎 3 階照明設備他 L E D 交換工事	1,886,760 円
平成 28 年度	庁舎北側自転車置場塗装工事	842,400 円
平成 30 年度	大河原町役場庁舎正面玄関外塗装工事	1,040,040 円
平成 30 年度	大河原町役場庁舎 1 階屋内消火栓配管改修工事	1,296,000 円
令和元年度	大河原町役場庁舎便所洋便器洗浄便座設置工事	1,209,600 円

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場庁舎は、町行政の中核を担っている。住民サービスの窓口や各種会議、選挙や税の申告場所、各種納付窓口の利用などと多くの住民が利用している。(役場庁舎)</li> <li>・町の公用車の車庫として利用。備品や各部署の保存文書を保管している。(車庫・倉庫棟)</li> <li>・町の公用車の車庫として利用。放射能対策室や会議場所として使用している。(車庫・事務所棟)</li> <li>・プロパンガスの保管庫として使用している。(LPG ボンベ・物置棟)</li> <li>・災害に備え、役場の防災資材等を保存する倉庫として使用している。(防災倉庫棟)</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロスが剥がれなどがみられるが、大きな損傷は見られない。損傷がある場合、適宜修繕を行っている。平成 30 年度に庁舎照明の L E D 化を実施している。(役場庁舎)</li> <li>・大きな損傷もなく稼働している。(車庫・倉庫棟・LPG ボンベ・物置棟・防災倉庫)</li> <li>・多少の亀裂は見られるが、大きな損傷もなく稼働している。(車庫・事務所棟)</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も定期的なメンテナンスや修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> <li>・空調設備の交換修繕等大規模改修の可能性が高い。</li> </ul>

## 4 行政施設

### 56. 大河原公園管理棟

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	大河原町公園管理棟		所管課	地域整備課	
所在地	字緑町 30	施設分類	庁舎等		
代表建築年度	平成 7 年（1995 年）度				
建築費	27,960,000 円	取得価額			
延床面積	126.40 m <sup>2</sup>				
構造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	50 年	経過年数			25 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	7,060 人	7,357 人	7,748 人	8,175 人	6,920 人
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	9:00~19:00	9:00~19:00	9:00~19:00	9:00~19:00	9:00~19:00
稼働日数	307 日	307 日	309 日	308 日	256 日
稼働率	84.1%	84.1%	84.7%	84.4%	70.1%
運営経費	35,457,623 円	36,046,556 円	47,412,556 円	46,412,556 円	42,376,556 円

※運営経費：大河原町スポーツ振興アカデミー全体の使用料及び指定管理料

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町の体育施設である、テニスコート・多目的広場の使用を管理するために設置されたもの。利用者の受付は行わないが、体育施設の維持管理のため必要な施設である。
施設の現状	・令和 2 年 2 月 12 日の福島県沖地震により災害復旧工事を行っているため、改修の予定はない。
今後の方向性	・今後も継続して運用し、体育施設維持管理に寄与する。


## 4 行政施設

### 57. はたらく館 ※旧仙台地方検察庁大河原支部

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	はたらく館 ※旧仙台地方検察庁大河原支部			所管課	企画財政課
所在地	字南海道下 47		施設分類	庁舎等	
代表建築年度	昭和 56 年（1981 年）度				
建築費	6,500,000 円	取得価額			
延床面積	372.44 m <sup>2</sup>				
構造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	14 年	経過年数	39 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)		-	-	1,552 人	1,701 人
職員数 (正規)		-	-	-	-
職員数 (臨時)		-	-	-	-
運営方式		直営	直営	貸付/直営	貸付/直営
運営時間		8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数		186 日	365 日	239 日	243 日
稼働率		50.9%	100.0%	65.8%	65.8%
運営経費		13,642 円	19,124,119 円	6,288,425 円	1,421,303 円

※平成 31 年 4 月 1 日、はたらく館として開館

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	旧仙台地方検察庁大河原支部改修工事	17,787,600 円
平成 30 年度	旧仙台地方検察庁大河原支部 1 階 LAN 設備等配線工事	370,440 円
令和元年度	大河原町はたらく館倉庫新築工事	4,785,000 円

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度に国有財産であった旧仙台地方検察庁大河原支部と町有財産の交換により、取得した。その後、平成 31 年 4 月 1 日より、はたらく館として開館した。</li> <li>1 階部分を大河原町シルバー人材センターへ貸し出ししている。</li> <li>2 階部分を昆虫標本の保管場所として使用している。（生涯学習課）</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築から 39 年ほど経過しており、事務室内の床の剥がれなどの損傷がみられる。</li> <li>地震による建物周辺の地盤沈下など老朽化が進んでいる。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も定期的なメンテナンスや修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>

## 4 行政施設

### 58. 新東防災倉庫 ※旧宮城県南青果商業協同組合

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	新東防災倉庫 ※旧宮城県南青果商業協同組合		所管課	企画財政課	
所在地	字新東 19-2	施設分類	庁舎等		
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度				
建築費	不明	不明			
延床面積	398.58 m <sup>2</sup>				
構造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数			41 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）			-	-	-
職員数（正規）			-	-	-
職員数（臨時）			-	-	-
運営方式			直営	直営	直営
運営時間			8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数			202 日	365 日	365 日
稼働率			55.3%	100.0%	100.0%
運営経費			15,053 円	38,785 円	6,030,597 円

※平成 30 年 9 月 11 日付け寄付受け

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和 2 年度	大河原町倉庫屋根修繕工事	5,993,900 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・近年頻度や被害規模の増す災害等に備えるため、宮城県南青果商業協同組合から寄附を受けた倉庫を防災・備蓄機能付きの倉庫として改修し使用している。
施設の現状	・令和 2 年度に、防災機能をより強化し長期的に使用できるよう屋根の修繕工事を行った。 ・建築から 41 年経過しているため、外壁の老朽化見られる。
今後の方向性	・今後も定期的なメンテナンスや修繕を行い、施設の長寿命化を図る。老朽化の状況により、建て替え又は解体の検討を行う。




## 4 行政施設

### 59. 旧稗田前集会所

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	旧稗田前集会所			所管課	企画財政課
所在地	大谷字稗田前 56-35		施設分類	庁舎等	
代表建築年度	昭和 51 年（1976 年）度				
建築費	1,616,000 円	再調達価額			
延床面積	101.52 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	44 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	1,499 人	1,152 人	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~21:00	9:00~21:00	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	158,639 円	153,053 円	20,894 円	20,894 円	21,984 円

※運営経費：施設管理委託料は含まれず、東部集会所にまとめて計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ及び地域の自治を作る拠点として、多くの地区住民が利用していた。平成 30 年 3 月に稗田前集会所が新築されたことに伴い、普通財産へ財産区分を移行し、現在は役場の防災資材等を保存する倉庫として使用している。</li> </ul>
施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築から 44 年経過しており、外観などから老朽化が確認できる。</li> <li>防災資材の保存場所として使用している。</li> <li>稗田前の 2 急傾斜地崩壊危険区域（宮城県）であるため、崩落の危険がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化もあり、崩落の危険があるため、将来的に解体を検討する必要がある。</li> </ul>

## 4 行政施設

### 60. 大河原駅自由通路

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	大河原駅自由通路			所管課	地域整備課
所在地	大谷字町向 119-1			施設分類	駐輪施設等
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度				
建築費	130,235,947 円	取得価額			
延床面積	448.50 m <sup>2</sup>				
構造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	34 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数 (件数)	1,000 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人
職員数 (正規)	-	-	-	-	-
職員数 (臨時)	-	-	-	-	-
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	26,517 円	26,517 円	26,517 円	26,517 円	26,517 円

※利用者数：1 日あたりの利用者数（概算） ※運営方式：シルバー人材センターへ委託。修繕は直営

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	駅前自由通路西側外壁防水修繕工事	4,860,000 円
平成 28 年度	駅前自由通路東側内装修繕工事	518,400 円

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ JR 大河原駅の線路上に位置し、線路の東西をつなぐ歩行者用通路として、駅前地域に居住する大河原町民・柴田町民・大河原商業高校生等に主に利用されている。なお、トイレも自由通路に含む。
施設の現状	・ 建築から 34 年が経過し、その間、屋根の塗装や修繕を行っていないことから、強い雨が降ると雨漏りを起こしている。また、橋梁点検を行っておらず、JR より橋梁点検を行うよう要請されている（ただし、点検には費用がかかる）。
今後の方向性	・ 解体すると、駅前第 2 駐輪駐車場利用者が不便になるため、長寿命化する必要がある。橋梁点検のうえ屋根の補修を行い、雨漏りをなくすことで長寿命化させることができると考える。


## 4 行政施設

### 61. 大河原駅前第1駐輪場

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	大河原駅前第1駐輪場			所管課	地域整備課
所在地	大谷字町向 242-2			施設分類	駐輪施設等
代表建築年度	昭和62年（1987年）度				
建築費	97,407,241円	取得価額			
延床面積	916.48㎡				
構造	鉄骨造				
耐用年数	31年	経過年数	33年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）	300人	300人	300人	300人	280人
職員数（正規）	1人	1人	1人	1人	1人
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	365日	365日	365日	365日	365日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	12,355,362円	12,836,609円	13,164,518円	13,766,673円	14,214,900円

※利用者数：1日あたりの利用者数（概算）※運営方式：シルバー人材センターへ委託。修繕は直営

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・JR大河原駅の西側に位置し、主に駅西地域に居住する町民や大河原町の各企業へ自転車通勤するかに利用されている。
施設の現状	・壁がないため、強い横風により、自転車が倒れる事案が数多く起きているほか、雨にさらされることもある。駐輪場2階の屋根から、構造上の都合により、朝露が屋根上から伝って垂れ、2階に落ちてしまっているため、利用者には不快な思いをさせてしまうことがある。
今後の方向性	・解体すると、駅前第1駐輪場利用者の代替駐輪場がないため、長寿命化する必要がある。階段は修繕を要するが、より快適な駐輪場にするため、新規に壁や屋根を設けることを検討する。


## 4 行政施設

### 62. 大河原駅前第2駐輪場

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	大河原駅前第2駐輪場			所管課	地域整備課
所在地	大谷字町向 265-1		施設分類	駐輪施設等	
代表建築年度	昭和62年（1987年）度				
建築費	814,000円	取得価額			
延床面積	310.20㎡				
構造	鉄骨造				
耐用年数	31年	経過年数	33年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）	100人	100人	100人	100人	95人
職員数（正規）	1人	1人	1人	1人	1人
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	365日	365日	365日	365日	365日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	12,382,886円	12,864,112円	13,173,298円	13,767,314円	14,215,541円

※利用者数：1日あたりの利用者数（概算）※運営方式：シルバー人材センターへ委託。修繕は直営

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・JR大河原駅の東側に位置し、主に駅東地域に居住する大河原町民・柴田町民に利用されている。
施設の現状	・現状は、雨漏りしていないことから、修繕は不要と考える。
今後の方向性	・解体すると、駅前第2駐輪駐車場利用者の代替駐輪場がないため、長寿命化する必要がある。

## 4 行政施設

### 63. 本町地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	本町地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課	
所在地	字東 1-1	施設分類	備蓄倉庫			
代表建築年度	昭和 53 年（1978 年）度					
建築費	2,080,000 円	再調達価額				
延床面積	12.40 m <sup>2</sup>					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数				42 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	2,766 円	2,689 円	2,689 円	2,689 円	3,348 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・大河原町消防団第 3 分団 4 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 64. むつみ地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	むつみ地区防災資機材備蓄倉庫		所管課	総務課
所在地	大谷字末広 4-1		施設分類	備蓄倉庫
代表建築年度	平成 5 年（1993 年）度			
建築費	3,000,000 円	取得価額		
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>			
構造	木造			
耐用年数	22 年	経過年数		27 年
耐震化	-	避難所		-
付帯施設	-			

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	4,395 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・大河原町消防団第 4 分団 11 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 65. 金ヶ瀬中央地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	金ヶ瀬中央地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課	
所在地	金ヶ瀬字町 45-1	施設分類	備蓄倉庫			
代表建築年度	平成 7 年（1995 年）度					
建築費	3,000,000 円	取得価額				
延床面積	20.70 m <sup>2</sup>					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数				25 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	4,186 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 6 分団 14 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 66. 保料地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	保料地区防災資機材備蓄倉庫		所管課	総務課
所在地	大谷字保料前 54-295		施設分類	備蓄倉庫
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度			
建築費	3,000,000 円	取得価額		
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>			
構造	木造			
耐用年数	22 年	経過年数	24 年	
耐震化	-	避難所	-	
付帯施設	-			



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 4 分団 17 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。




## 4 行政施設

### 67. 自動車班防災備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	自動車班防災備蓄倉庫			所管課	総務課	
所在地	字新南 7-3	施設分類	備蓄倉庫			
代表建築年度	平成 9 年（1997 年）度					
建築費	8,610,000 円	取得価額				
延床面積	52.99 m <sup>2</sup>					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数				23 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	339,069 円	355,759 円	366,723 円	364,763 円	329,991 円

※運営経費：全 23 備蓄倉庫の光熱費を計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 1 分団自動車班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 68. 小山田地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	小山田地区防災資機材備蓄倉庫		所管課	総務課	
所在地	小山田字中宿 24-3	施設分類	備蓄倉庫		
代表建築年度	平成 10 年（1998 年）度				
建築費	2,733,000 円	取得価額			
延床面積	16.56 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数			22 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,634 円	3,533 円	3,533 円	3,533 円	3,268 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・大河原町消防団第 2 分団 2 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 69. 東新町地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	東新町地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課	
所在地	字東新町 19-3	施設分類	備蓄倉庫			
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度					
建築費	3,000,000 円	取得価額				
延床面積	19.87 ㎡					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数				21 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	47,190 円	47,079 円	57,879 円	57,879 円	57,588 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・大河原町消防団第 6 分団 18 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 70. 堤地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	堤地区防災資機材備蓄倉庫		所管課	総務課	
所在地	堤字上 1-5	施設分類	備蓄倉庫		
代表建築年度	平成 12 年（2000 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数			20 年
耐震化	-	避難所			-
付帯施設	-				

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 6 分団 22 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 71. 上大谷地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	上大谷地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	大谷字館前 146-6		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 13 年（2001 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	19 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・大河原町消防団第5分団7班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 72. 6-19 防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	6-19 防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課	
所在地	字広表 1-1	施設分類	備蓄倉庫			
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度					
建築費	3,000,000 円	取得価額				
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数	18 年			
耐震化	-	避難所	-			
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 6 分団 19 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 73. 西原地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	西原地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	大谷字西原前 167-1		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 15 年（2003 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	17 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	18,390 円	18,279 円	18,279 円	18,279 円	17,988 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 4 分団 9 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 74. 福田地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	福田地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	福田字中添 161-6		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 16 年（2004 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	16 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大原町消防団第2分団3班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。



## 4 行政施設

### 75. 新寺地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	新寺地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	新寺字本屋敷 86-3 外		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 18 年（2006 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	14 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

※

#### (3) 施設の現状と方向性


利用目的	・大河原町消防団第 2 分団 21 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 76. 橋本地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	橋本地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課	
所在地	字関の内 38-3	施設分類	備蓄倉庫			
代表建築年度	平成 18 年（2006 年）度					
建築費	3,000,000 円	取得価額				
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数				14 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

※運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大原町消防団第 2 分団 1 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 77. 金ヶ瀬上地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	金ヶ瀬上地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	金ヶ瀬字町 7-5		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 18 年（2006 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	14 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 6 分団 20 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 78. 上谷地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	上谷地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	大谷字上谷前 100-69		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 17 年（2005 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	15 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大谷原町消防団第 5 分団 8 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 79. 南桜町地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	南桜町地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	字南桜町 15	施設分類	備蓄倉庫		
代表建築年度	平成 19 年（2007 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	13 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 3 分団 13 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 80. 中島町地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	中島町地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	字錦町 4-1	施設分類	備蓄倉庫		
代表建築年度	平成 19 年（2007 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	13 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 5 分団 12 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 81. 原前地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	原前地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	大谷字原前 38-3 外		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 19 年（2007 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 ㎡				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	13 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 5 分団 15 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 82. 上川原地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	上川原地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	字新古川 10-8		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	平成 20 年（2008 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	12 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	201,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 3 分団 6 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。



## 4 行政施設

### 83. 小島地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	小島地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課	
所在地	字小島 8-2	施設分類	備蓄倉庫			
代表建築年度	平成 20 年（2008 年）度					
建築費	3,000,000 円	取得価額				
延床面積	19.87 ㎡					
構造	木造					
耐用年数	22 年	経過年数				12 年
耐震化	-	避難所				-
付帯施設	-					

##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大河原町消防団第 3 分団 10 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。


## 4 行政施設

### 84. 尾形丁地区防災資機材備蓄倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	尾形丁地区防災資機材備蓄倉庫			所管課	総務課
所在地	字甲子町 2-1	施設分類	備蓄倉庫		
代表建築年度	平成 20 年（2008 年）度				
建築費	3,000,000 円	取得価額			
延床面積	19.87 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	12 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	3,990 円	3,879 円	3,879 円	3,879 円	3,588 円

運営経費：自動車班防災備蓄倉庫の運営経費に合算して計上

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・大原町消防団第 4 分団 5 班の消防ポンプ付積載車及び防災資機材の格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後ある程度の年数を経過しているが、大きな劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・主に消防団の防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の使用障害は有事の際の防災活動の停止に直結するため、耐用年数や劣化状況を踏まえ予防的な修繕等を検討する必要がある。

## 4 行政施設

### 85. 中町倉庫

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	中町倉庫			所管課	地域整備課
所在地	字新南 22-4		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	昭和 62 年（1987 年）度				
建築費	2,450,000 円	取得価額			
延床面積	35.97 m <sup>2</sup>				
構造	木造				
耐用年数	30 年	経過年数	33 年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	365 日	365 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	-	-	-	-	-

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・現在道路維持作業用機材等の倉庫として利用している。
施設の現状	・主に除雪融雪作業機材の倉庫、融雪剤の備蓄倉庫として利用している。
今後の方向性	・今後も倉庫として利用することとしている。


## 4 行政施設

### 86. 東部郷倉

#### (1) 施設の概要

##### ①施設概要

代表建物名称	東部郷倉			所管課	地域整備課
所在地	大谷字一軒地 118-6		施設分類	備蓄倉庫	
代表建築年度	昭和11年（1936年）度				
建築費	87,000円	再調達価額			
延床面積	49.6㎡				
構造	岩				
耐用年数	34年	経過年数	84年		
耐震化	-	避難所	-		
付帯施設	-				



##### ②利用・運営状況

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
利用者数（件数）	-	-	-	-	-
職員数（正規）	-	-	-	-	-
職員数（臨時）	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	365日	365日	365日	365日	365日
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
運営経費	-	-	-	-	-

#### (2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

#### (3) 施設の現状と方向性

利用目的	・道路維持作業用機械及び材料保管倉庫で利用していた。
施設の現状	・現在は全く利用していない状況である。
今後の方向性	・倉庫内にある機械・材料等の撤去、解体を検討する必要がある。

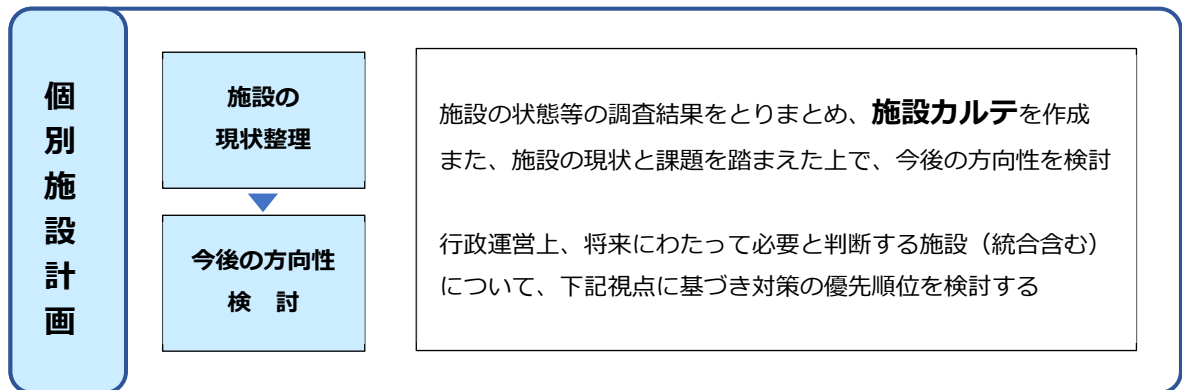
## 第5章 対策の優先順位の考え方

### 1 優先順位の考え方

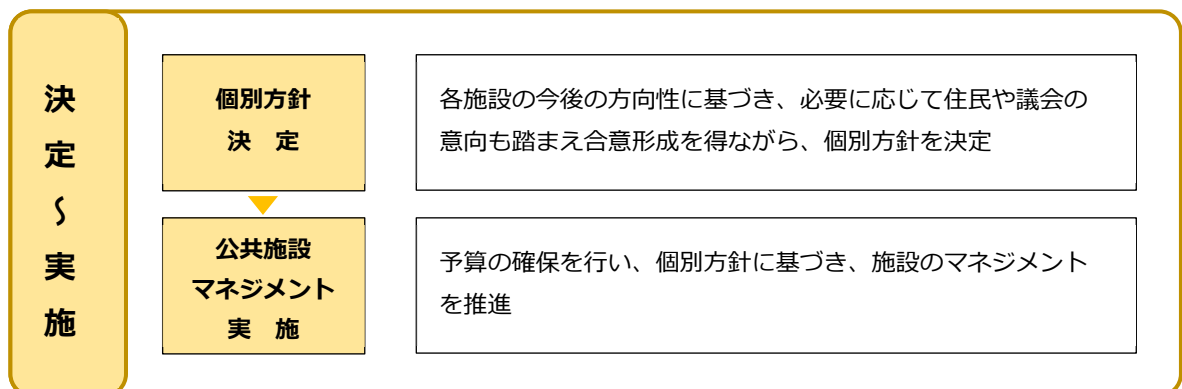
本計画で示した個別施設ごとの今後の方向性を基に、行政運営上、将来にわたって必要と判断する施設について、財政状況を考慮しながら、施設の安全性・機能性・経済性・代替性・社会性などの視点から、今後の保全等にかかる優先順位を検討します。また、必要に応じて住民や議会等とも合意形成を得て方針決定を行い、計画的に予算を確保し、施設のマネジメントを進めます。

ただし、継続利用が必要な公共施設等で、安全性が損なわれている施設や機能性が著しく低下している施設については、優先的に改修等を実施する方針とします。

<優先順位の考え方>



視点	優先順位を高める要因
安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放置しておくくと利用者に直接・間接の物理的被害や大きな施設の滅失が予見されるもの</li> <li>・ 敷地周辺に悪影響（騒音・振動・著しい美観の喪失等）を与えており、解消が求められるもの</li> <li>・ 改修により施設の長寿命化・耐震化等、安全性の確保が明らかに見込まれるもの</li> </ul>
機能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置当初の本来の要求事項が満たせなくなっており、その改善を行うもの</li> <li>・ 避難場所等に指定されており、災害発生時を想定し健全な状態を特に維持しておくことが必要と判断されるもの</li> </ul>
経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防保全により、将来のライフサイクルコストの低減が見込まれる状況にあるもの</li> </ul>
代替性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設や機能として替えが効かない、または故障時に部品等の確保が困難なもの</li> </ul>
社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民・社会のニーズの変化により、利用者満足度を満たせなくなったもの</li> <li>・ 環境負荷低減に貢献するもの</li> </ul>



## 第6章 対策の実施方針

### 1 施設点検の基本方針

建築基準法第12条に基づく法定点検のほかに、本計画の策定にあたって作成した「老朽化簡易診断調査票」を使用して、所管課職員等による簡易的な施設点検を定期的を実施することで、不具合・危険箇所の早期発見に努めるとともに、各施設の劣化・損耗の状態を把握して予防保全につなげるものとします。

また、社会環境の変化や機能集約により廃止を予定するもの以外の施設については、「長寿命化」を対策の基本方針とし、施設の法定耐用年数を目安に専門家等による劣化度診断を実施して、診断結果に基づき具体的な改修計画を立案します。

#### <点検サイクル案>

点検・診断		R3 (2020)	R4 (2021)	R5 (2022)	R6 (2023)	R7 (2024)	R8 (2025)	R9 (2026)
法定点検	建築基準法第12条	○	○	○	○	○	○	○
簡易点検	所管課職員等	※必要に応じて適宜実施						
劣化度診断	専門家（一級建築士等）	※必要に応じて適宜実施						

<老朽化簡易診断調査票>

調査票(老朽化簡易診断)

基本情報

施設番号		建物番号		調査年月日	
施設名称				調査員	
建物名称				所管課	
施設分類		延床面積	m <sup>2</sup>	建築日	
構造		耐用年数	年	耐震診断	
主/付帯		経過年数	年	耐震改修	

I. 点検項目(躯体)

部位	劣化状況 (複数回答可)	仕様 (該当する場合のみ)	修繕 (当年度)
1.屋根・屋上	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある	<input type="checkbox"/> 保護防水(屋上に出られる)	
	<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り跡がある	<input type="checkbox"/> 上記以外の屋上	
	<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ等がある	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(金属板葺等)	
	<input type="checkbox"/> 屋根材に錆・損傷がある	<input type="checkbox"/> その他の屋根	
	<input type="checkbox"/> 屋根・屋上を目視点検できない		
2.外壁	<input type="checkbox"/> 鉄筋等が見えているところがある	<input type="checkbox"/> 石・タイル張り	
	<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある	<input type="checkbox"/> コンクリート	
	<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている	<input type="checkbox"/> 吹付け	
	<input type="checkbox"/> 外壁・基礎等に大きな亀裂がある	<input type="checkbox"/> その他の外壁	
	<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれがある		
	<input type="checkbox"/> 外部手すり等が錆・腐朽している		
3.外部開口部	<input type="checkbox"/> 窓・ドアの周りで漏水がある	<input type="checkbox"/> 普通サッシ・単板ガラス	
	<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆が多くみられる	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ・省エネガラス	
	<input type="checkbox"/> 窓・ドアに歪みがあり開閉できない	<input type="checkbox"/> 防音サッシ	
4.室内	<input type="checkbox"/> コンクリートの床・壁に亀裂がある	<input type="checkbox"/> 高い天井の大空間	
	<input type="checkbox"/> 天井が破損し、落下の危険がある		
	<input type="checkbox"/> 床仕上材に使用上の支障がある		
5.外構	<input type="checkbox"/> 地盤沈下による不具合がある	<input type="checkbox"/> 組積造・OB造の塀	
	<input type="checkbox"/> 塀・擁壁に倒壊の危険がある	<input type="checkbox"/> 擁壁	
	<input type="checkbox"/> 塗装に凹凸が多く崩壊の危険がある	<input type="checkbox"/> フェンス	

II. 点検項目(躯体以外)

部位	劣化状況 (複数回答可)	仕様 (該当する場合のみ)	修繕 (当年度)
1.電気設備	<input type="checkbox"/> 機器が全般的に錆びている	<input type="checkbox"/> 埋め込み型照明	
	<input type="checkbox"/> 照明器具落下の危険がある	<input type="checkbox"/> 吊り下げ型照明	
	<input type="checkbox"/> 機器が頻繁に故障する	<input type="checkbox"/> 特殊設備(高圧、蓄電池等)	
	<input type="checkbox"/> その他の指摘がある	<input type="checkbox"/> 自家発電設備(太陽光含む)	
2.給水設備	<input type="checkbox"/> 水質・水量等で使用に支障がある	<input type="checkbox"/> 直結方式(ポンプ、水槽等なし)	
	<input type="checkbox"/> 給水ポンプで異音、漏水がある	<input type="checkbox"/> ポンプ、受水槽、高置水槽	
	<input type="checkbox"/> その他の指摘がある		
3.排水設備	<input type="checkbox"/> 衛生器具等で使用に支障がある	<input type="checkbox"/> 下水道接続	
	<input type="checkbox"/> 排水ポンプで異音、漏水がある	<input type="checkbox"/> 浄化槽	
	<input type="checkbox"/> その他の指摘がある		
4.空調設備	<input type="checkbox"/> 空調機器等で使用に支障がある	<input type="checkbox"/> 個別方式	
	<input type="checkbox"/> 異音、異臭、漏水がある	<input type="checkbox"/> 中央方式	
	<input type="checkbox"/> その他の指摘がある		
5.その他設備	<input type="checkbox"/> 通常使用に支障がある	<input type="checkbox"/> エレベーター等の昇降機	
	<input type="checkbox"/> 頻繁に故障する	<input type="checkbox"/> 機械式駐車設備	
	<input type="checkbox"/> その他の指摘がある	<input type="checkbox"/> 融雪装置	

III. その他、要望等があれば自由に記入してください。

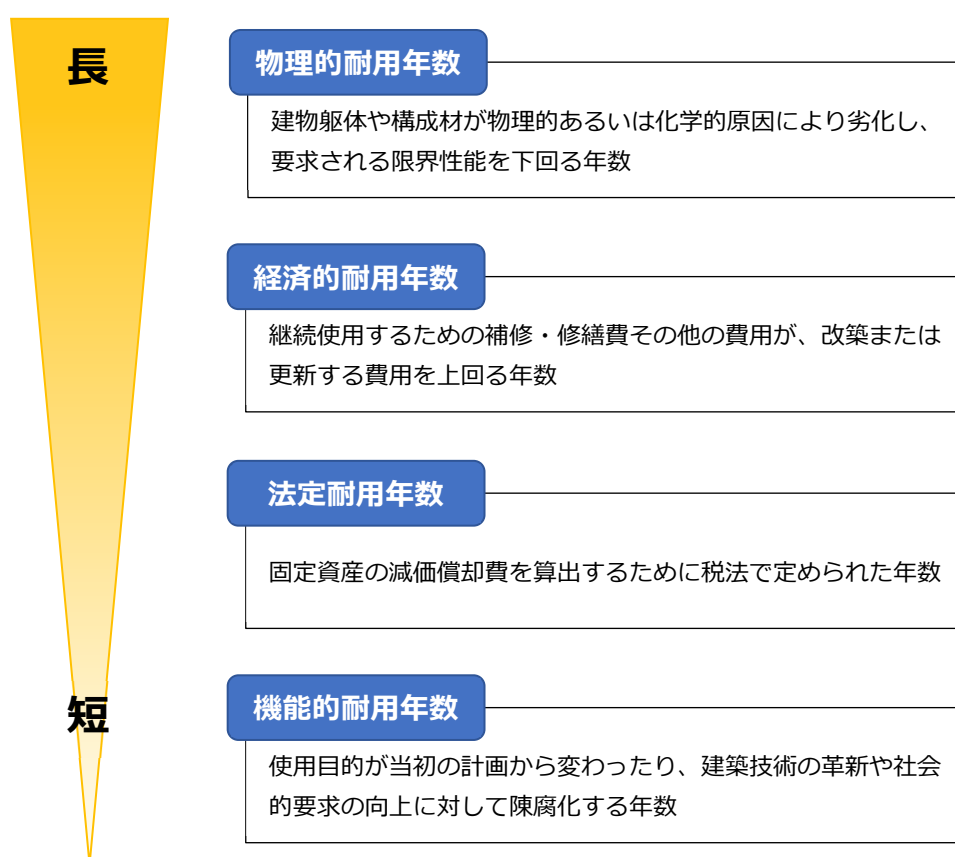
## 2 長寿命化の基本方針

### (1) 建築物の耐用年数の考え方

建築物の耐用年数には、様々な基準や考え方があります。一般的に耐用年数は、「機能的耐用年数<法定耐用年数<経済的耐用年数<物理的耐用年数」となりますが、これまでの施設の寿命は、最短の機能的耐用年数に近かったのが現状です。

しかし、今後、すべての公共施設等を機能的耐用年数の基準に建替えることは財政制約上困難であり、計画的に保全整備を行うことにより施設を長寿命化して供用期間を延ばし、最長の物理的耐用年数に出来る限り近づけることで、ライフサイクルコストの低減を目指します。

<建築物の耐用年数の考え方>





(2) 目標使用年数

公共施設等の長寿命化の目標として、施設使用の計画期間である「目標使用年数」を設定します。

目標使用年数は、施設の計画的な保全を実施するために設定するもので、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考に、本計画では建築物の物理的耐用年数まで使用し続けることを原則とし、目標使用年数を構造別に下表のとおりとします。

<目標使用年数>

構 造	耐用年数	
	代表値	目標使用年数
(A) 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート・鉄骨造	60年	80年
(B) 軽量鉄骨造・木造・コンクリートブロック	40年	50年

※ 基本的には「建築物の耐久計画に関する考え方」に示されている目標耐用年数の最大値（普通品質の場合）を設定しますが、コンクリートブロック造は小規模施設が多いため50年とします。

<建築物全体の望ましい目標耐用年数の級>

用途	構造種別	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
		高品質 の場合	普通の品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
				高品質 の場合	普通の品質 の場合			
学校・官庁	Y <sub>0</sub> 100以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 100以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 40以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 60以上	
住宅・事務所・病院	Y <sub>0</sub> 100以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 100以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 40以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 40以上	
店舗・旅館・ホテル	Y <sub>0</sub> 100以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 100以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 40以上	Y <sub>0</sub> 60以上	Y <sub>0</sub> 40以上	
工場	Y <sub>0</sub> 40以上	Y <sub>0</sub> 25以上	Y <sub>0</sub> 40以上	Y <sub>0</sub> 25以上	Y <sub>0</sub> 25以上	Y <sub>0</sub> 25以上	Y <sub>0</sub> 25以上	

出典：日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」

<目標耐用年数の級の区分の例>

級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y <sub>0</sub> 150以上	150年	120 ~ 200年	120年
Y <sub>0</sub> 100以上	100年	80 ~ 100年	80年
Y <sub>0</sub> 60以上	60年	50 ~ 80年	50年
Y <sub>0</sub> 40以上	40年	30 ~ 50年	30年
Y <sub>0</sub> 25以上	25年	20 ~ 30年	20年

出典：日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」

※ Y<sub>0</sub>：目標耐用年数の級を表す記号

(3) 改修時期の考え方

建築物を構造別の目標使用年数まで長寿命化するために、定期的な改修サイクルを設定して計画的に予防保全を実施し、施設の安全性・機能性を維持します。構造別の主な改修時期のイメージと工事内容の例は以下のとおりとします。

<改修時期のイメージ>

**(A) 目標使用年数：80年**

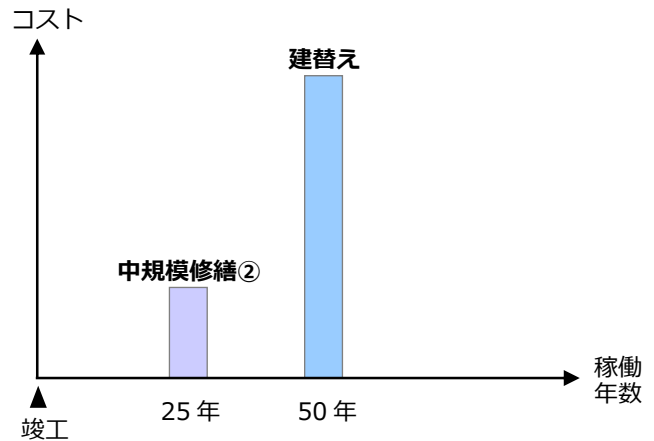
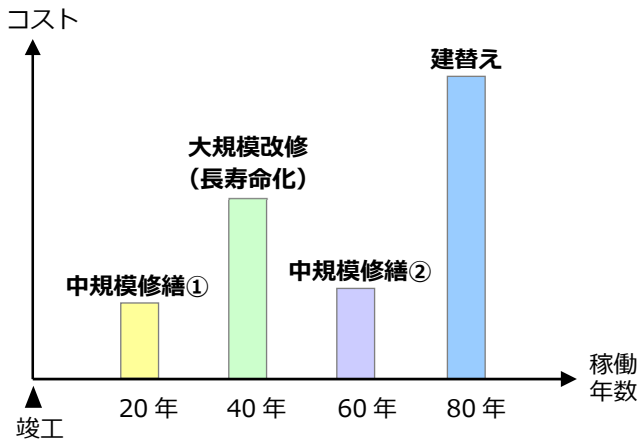
- ・鉄骨鉄筋コンクリート
- ・鉄筋コンクリート
- ・鉄骨造

(1) 築20年で中規模修繕①  
 (2) 築40年で大規模改修（長寿命化）  
 (3) 築60年で中規模修繕②  
 (4) 築80年で建替え

**(B) 目標使用年数：50年**

- ・軽量鉄骨造
- ・木造
- ・コンクリートブロック

(1) 築25年で中規模修繕②  
 (2) 築50年で建替え  
 ※ 大規模改修は実施しない



<工事内容の例>

中規模修繕①	中規模修繕②	大規模改修（長寿命化）	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事		経年劣化による機能回復工事と、耐用性・快適性・省エネ性を確保するための機能向上工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・トイレ改修</li> <li>・内装改修</li> <li>・設備機器改修</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障・不具合修繕</li> </ul> 等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・トイレ改修</li> <li>・内装改修</li> <li>・設備機器改修</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障・不具合修繕</li> </ul> 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート中性化対策</li> <li>・鉄筋の腐食対策</li> <li>・バリアフリー改修</li> <li>・外壁・屋上の断熱化改修</li> <li>・省エネルギー機器への更新</li> </ul>

※工事内容の例は参考に示したものであり、上表以外の内容でもそれぞれの工事の目的に合致するものであれば実施できるものとします。

### 3 対策費用の試算

#### (1) 対策費用のシミュレーション方法

本計画で各施設の「今後の方向性」として示した対策内容を実施した場合の効果を推計するため、本計画の対象施設の修繕・改修・建替え等工事費用について、以下の2つのケースでコストのシミュレーションを行いました。

**ケース①：全ての施設を現状規模のまま維持した場合**

(全ての施設を築25年で大規模改修、築50年で建替えを行って、現状の規模を維持)

※総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」による試算

※大河原町公共施設等総合管理計画の試算基準に準ずる

**ケース②：長寿命化等の対策を実施した場合**

(各建物の今後の方向性に基づき長寿命化等を実施)

#### (2) 対策費用のシミュレーション条件

対策費用のシミュレーションにおける条件の詳細は、以下のとおりとします。

<シミュレーション条件>

項目		条件	
更新費用の推計額		事業費ベースでの計算	
計算方法		延床面積×更新単価	
更新単価		次頁の更新単価表のとおり	
<ケース①> 全ての施設を現状規模のまま維持した場合	耐用年数	50年	
	大規模改修	建築後25年(期間:2年間)	
	建替え	建築後50年(期間:3年間)	
	改修/建替え時期を超過している施設(積み残し分)	・改修/建替え時期を超過している施設(積み残し分)は、今後10年以内に工事を実施するものとして、延床面積×更新単価の1/10の額を10年間にわたって計上 ・今後10年以内に建替え時期を迎える施設は、建替えまでの間は小規模修繕等により使用するものとして、積み残し分の改修費用は計上しない	
<ケース②> 長寿命化等の対策を実施した場合	構造	・鉄骨鉄筋コンクリート ・鉄筋コンクリート ・鉄骨造	・軽量鉄骨造 ・木造 ・コンクリートブロック
	目標使用年数	80年	50年
	中規模修繕①	建築後20年(期間:1年間)	実施しない
	大規模改修	建築後40年(期間:2年間)	実施しない
	中規模修繕②	建築後60年(期間:1年間)	建築後25年(期間:1年間)
	建替え	建築後80年(期間:3年間)	建築後50年(期間:3年間)
	解体撤去	建築後50年(期間:1年間)	
修繕/改修/建替え時期を超過している施設(積み残し分)	・修繕/改修/建替え時期を超過している施設(積み残し分)は、今後10年以内に工事を実施するものとして、延床面積×更新単価の1/10の額を10年間にわたって計上 ・今後10年以内に次の工事(修繕/大規模改修/建替え)時期を迎える施設は、次の工事までの間は小規模修繕等により使用するものとして、積み残し分の修繕/改修費用は計上しない		

## 第6章 対策の実施方針

<更新単価表>

(万円/㎡)

総合管理計画 施設分類		改修区分別更新単価				
施設大分類	施設中分類	中規模修繕①	大規模改修	中規模修繕②	建替え	解体撤去
社会施設	コミュニティ・文化施設	10	25	12	40	2.8
社会施設	スポーツ施設	9	20	11	36	2.8
社会施設	集会所	10	25	12	40	2.8
医療保健福祉・子育て支援施設	医療施設	10	25	12	40	2.8
医療保健福祉・子育て支援施設	保健福祉施設	9	20	11	36	2.8
医療保健福祉・子育て支援施設	子育て支援施設	8	17	10	33	2.8
住宅施設	その他の住宅	9	20	11	36	2.8
行政施設	庁舎等	10	25	12	40	2.8
行政施設	駐輪施設等	9	20	11	36	2.8
行政施設	備蓄倉庫	9	20	11	36	2.8

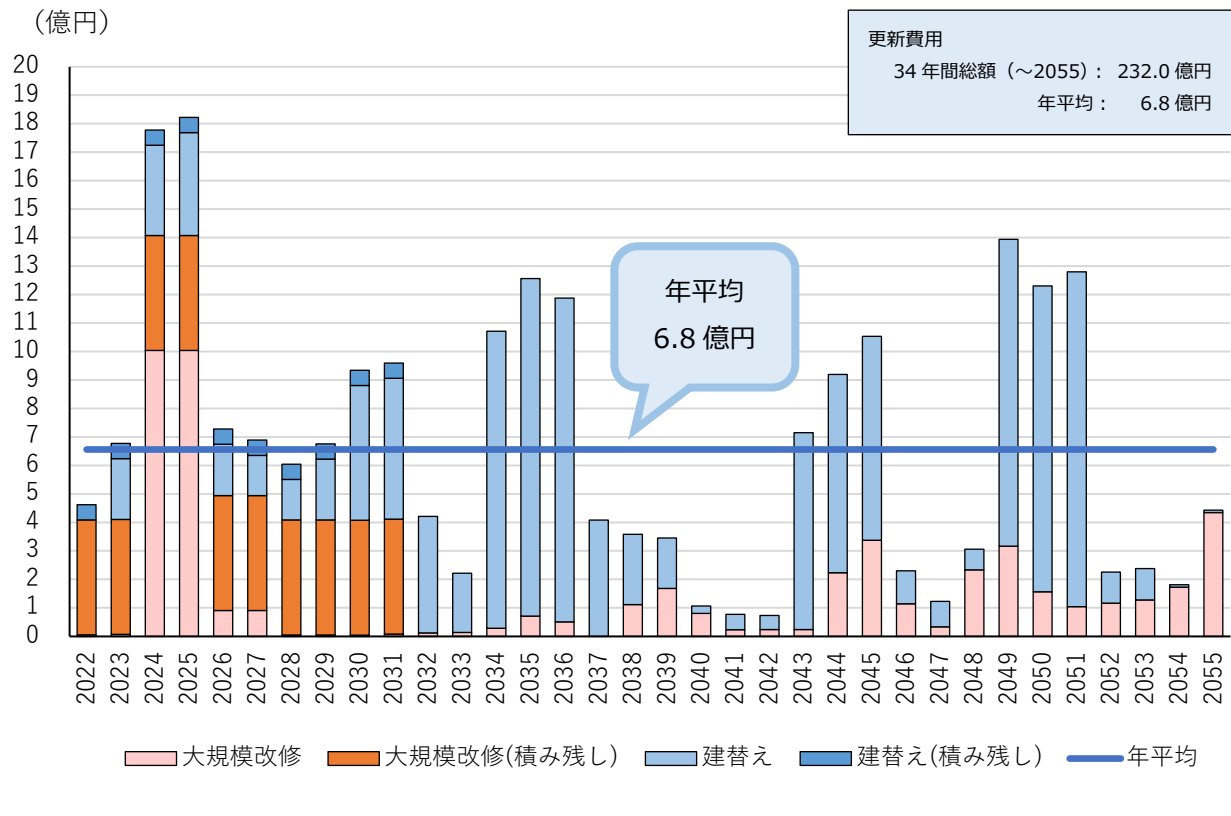
### 【解説】

- ・大規模改修及び建替えの更新単価は、総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」における標準単価を採用しました。(建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については上記単価に含むものとして想定)
- ・中規模修繕①は建替えの約25%、中規模修繕②は建替えの約30%の更新単価として試算しました。

**(3) ケース①：全ての施設を現状規模のまま維持した場合**

全ての施設を現状規模のまま維持するものとして、施設の構造に関わらず、一律築 25 年で大規模改修、築 50 年で建替えを行う条件で将来の概算更新費用をシミュレーションすると、今後 34 年間で必要となる費用の総額は約 232.0 億円（年平均：約 6.8 億円）の試算結果となります。なお、改修／建替え時期を超過している施設（積み残し分）は、今後 10 年以内に工事を実施するものとして、延床面積×更新単価の 1/10 の額を 10 年間にわたって計上しています。

**ケース①：全ての施設を現状規模のまま維持した場合**



<ケース① 更新費用>

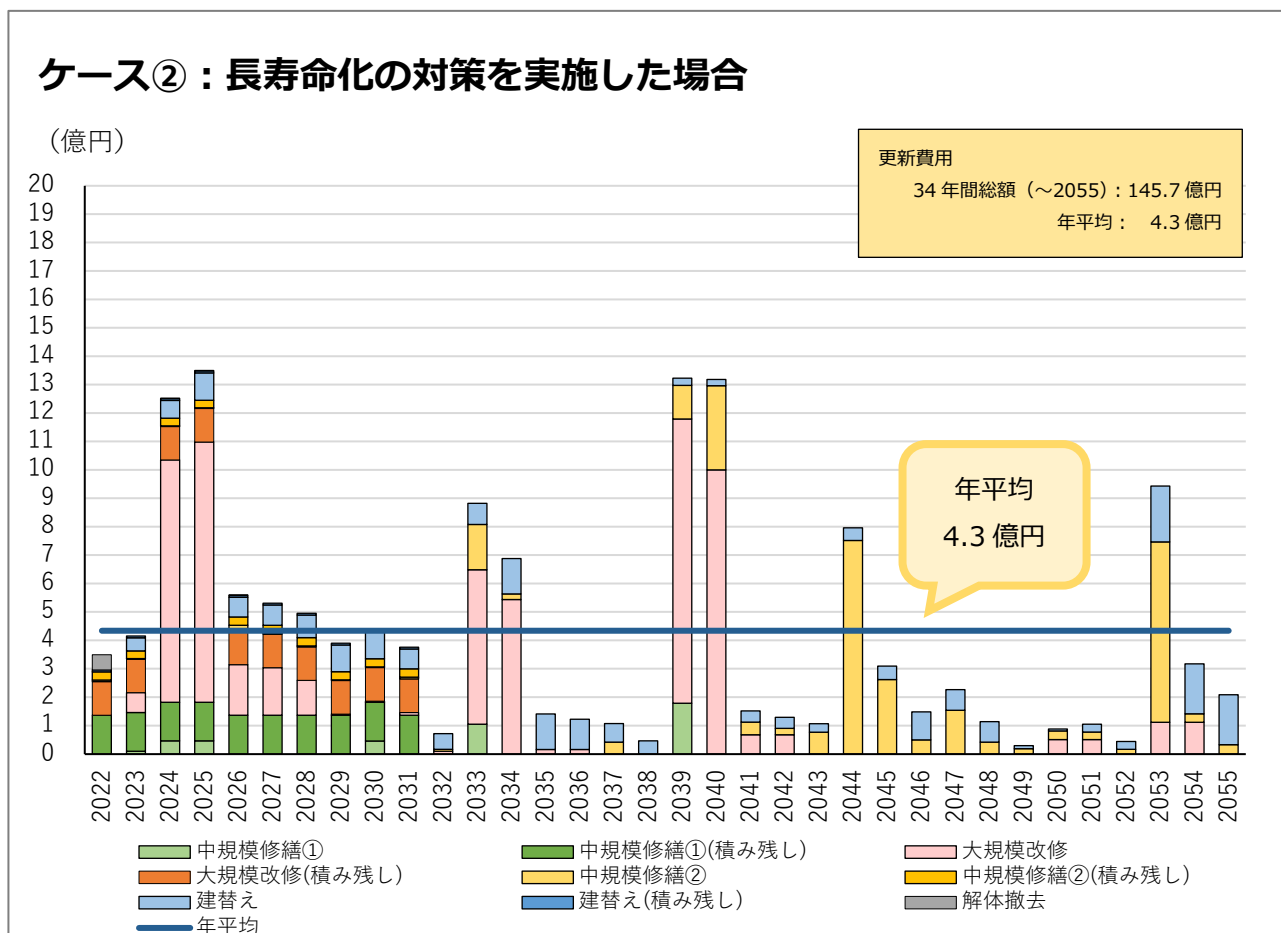
（千円）

更新区分	34年間 総額	
	2022年度～ 2055年度	年平均
大規模改修	5,201,095	152,973
建替え	13,424,102	394,827
大規模改修（積み残し）	4,035,441	118,689
建替え（積み残し）	534,664	15,725
合計	23,195,302	682,215

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(4) ケース②：長寿命化の対策を実施した場合

本計画で各施設の「今後の方向性」として示した長寿命化の対策内容を実施した場合の概算更新費用をシミュレーションすると、今後34年間で必要となる費用の総額は約145.7億円（年平均：約4.3億円）の試算結果となります。



<ケース② 更新費用> (千円)

更新区分	34年間 総額	
	2022年度～ 2055年度	年平均
中規模修繕①	430,919	12,674
大規模改修	5,911,549	173,869
中規模修繕②	2,883,908	84,821
建替え	2,392,862	70,378
解体撤去	61,054	1,796
中規模修繕①(積み残し)	1,362,251	40,066
大規模改修(積み残し)	1,181,438	34,748
中規模修繕②(積み残し)	283,855	8,349
建替え(積み残し)	63,456	1,866
合計	14,571,290	428,567

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

**(5) ケース①とケース②の比較**

ケース①とケース②の更新費用試算額を比較すると、ケース②で施設の長寿命化を実施することにより、34年間では約86.2億円（約37.2%）の費用縮減が図れる見込みであることを示しています。これは、施設を長寿命化することにより、試算期間内での大規模改修・建替え等が減少したことによる影響となります。

今後、施設の利用状況や老朽化状況に基づき、具体的な対策の優先順位を検討してコストの平準化を図り、町全体として質・量ともに適正な公共施設等の配置を実現することで、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進していきます。

## &lt;コスト比較&gt;

(千円)

試算ケース		34年間 総額	
		2022年度～ 2055年度	年平均
①	全ての施設を現状規模のまま維持した場合	23,195,302	682,215
②	長寿命化の対策を実施した場合	14,571,290	428,567
コスト比較(②-①)		▲ 8,624,012	▲ 253,648
	縮減率	▲ 37.2%	▲ 37.2%

## 大河原町個別施設計画

令和4年7月

発行 大河原町  
企画・編集 大河原町 企画財政課  
〒989-1295  
宮城県柴田郡大河原町字新南1-9番地  
TEL : 0224-53-2112  
FAX : 0224-53-3818